

景気動向調査結果

(令和7年1月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 7 年 1 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 7 年 2 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、414 社（製造業 197 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 217 社）で、回答率は 59.1 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2925）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2957）

令和7年1月の景気動向

1 総 論

長野県経済は、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により依然として厳しい状況が続いているものの、一部で持ち直しの動きがみられます。

製造業の業況は、精密・機械の一部が好調であるものの、エネルギー・原材料価格の高騰等により収益率に低下がみられるとともに、一部自動車メーカーの生産の落ち込みにより自動車関連の受注、生産に弱さがみられることなどから、全体では11期連続でマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、情報化投資の増加や堅調なインバウンド需要等により、情報サービス業、飲食業、宿泊業でプラス水準となっているものの、全体では原材料価格の高騰や賃上げ等に伴う経費の増加に加え、消費者の節約志向等も影響し5期連続のマイナス水準となりました。

2 製 造 業

(1) 業界の業況

前年同期（令和6年1月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は△15.3 となり、前回調査時（令和6年10月）の△21.3 より 6.0 ポイント改善しました。

3 か月前（令和6年10月）と比較したD Iは△18.6 となり、前回調査時の△4.2 より 14.4 ポイント悪化し、13 期連続のマイナス水準となりました。

3 か月後（令和7年4月）の予想では、D Iは△6.7 となり、12 期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産に増加がみられます。プリンターは、受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連は、E Vを中心とした自動車関連向けで受注、生産が堅調に推移しているものの、スマートフォン、P C向けで需要回復の遅れにより、受注、生産に足踏みがみられます。抵抗器・コンデンサ等は、自動車関連向けが弱含んでいる一方、情報通信向けと産業用機械向けで受注、生産に持ち直しがみられます。モーター等では、航空機向けで航空機需要の回復により受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体向け（生成A I、データセンター）が順調に推移しているものの、全体的には中国経済の減速の影響等により、受注、生産が低調に推移しています。金型は、自動車関連（E V）向けで受注が増加しています。建設機械は、海外向けの受注が減少しており、生産、販売に一服感がみられます。

ウ 精密では、時計は、国内外ともに需要が堅調であり、受注、生産は好調に推移しています。レンズは、自動車関連向けと映像関連向けで受注、生産が堅調に推移しています。圧力計は、半導体関連を中心に、受注、生産は底堅く推移しています。L Pガスメーターは、ガス用I o T関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品は、一部自動車メーカーの生産の落ち込みにより、受注、生産が弱含んでいます。

オ 味そは、受注、生産が堅調に推移しているものの、原材料価格の高騰等により収益率の低下がみられます。酒類は、国内市場の縮小や物価高騰の影響による消費マインドの落ち込みにより、受注、生産が弱含んでいます。飲料は、受注、生産が堅調に推移しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が26.9%と前回(24.2%)より増加し、「減少」とする企業が34.5%と前回(39.1%)より減少した結果、D Iは前回(△14.9)より改善し、△7.6となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が14.9%と前回(14.6%)とほぼ同じで、「減少」とする企業が35.4%と前回(26.3%)より増加した結果、D Iは前回(△11.7)より悪化し、△20.5となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業は17.1%、「減少」とする企業が18.7%となった結果、D Iは△1.6となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が24.9%と前回(23.7%)より増加し、「減少」とする企業が37.1%と前回(43.7%)より減少した結果、D Iは前回(△20.0)より改善し、△12.2となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が15.9%と前回(19.2%)より減少し、「減少」とする企業が33.8%と前回(25.4%)より増加した結果、D Iは前回(△6.2)より悪化し、△17.9となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業19.7%、「減少」とする企業が21.8%となった結果、D Iは△2.1となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が41.1%と前回(41.4%)とほぼ同じで、「安い」とする企業が6.1%と前回(4.2%)より増加した結果、D Iは前回(37.2)より悪化し、35.0となりました。

3ヵ月前との比較では、「高い」とする企業が14.9%と前回(13.1%)より増加し、「安い」とする企業が2.1%と前回(2.8%)よりやや減少した結果、D Iは前回(10.3)より改善し、12.8となりました。

3ヵ月後の予想については、「高い」とする企業が13.0%、「安い」とする企業が3.1%となった結果、D Iは9.9となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が9.4%と前回(6.6%)より増加し、「苦しい」とする企業が15.7%と前回(15.2%)よりやや増加した結果、D Iは前回(△8.6)より改善し、△6.3となりました。

3ヵ月前との比較では、「らく」とする企業が6.9%と前回(3.8%)より増加し、「苦しい」とする企業が12.7%と前回(12.4%)とほぼ同じであった結果、D Iは前回(△8.6)より改善し、△5.8となりました。

3ヵ月後の予想については、「らく」とする企業が5.3%、「苦しい」とする企業が14.9%となった結果、D Iは△9.6となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が16.8%と前回(17.6%)よりやや減少し、「低下」とする企業が42.3%と前回(44.4%)より減少した結果、D Iは前回(△26.8)より改善し、△25.5となりました。

3ヵ月前との比較では、「上昇」とする企業が8.2%と前回(8.9%)よりやや減少し、「低下」とする企業が31.4%と前回(25.7%)より増加した結果、D Iは前回(△16.8)より悪化し、△23.2となりました。

3ヵ月後の予想については、「上昇」とする企業が9.9%、「低下」とする企業が26.0%となった結果、D Iは△16.1となりました。

(7)製造業の業種別動向

電 機 ・ 電 子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産に増加がみられます。プリンターは、受注、生産が堅調に推移しています。

(半導体関連・プリント基板) 半導体関連は、E Vを中心とした自動車関連向けでは、受注、生産が堅調に推移しているものの、スマートフォン、P C向けで需要回復の遅れにより、受注、生産に足踏みがみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 抵抗器・コンデンサ等は、自動車関連向けが弱含んでいる一方、情報通信向けと産業用機械向けで受注、生産に持ち直しがみられます。

(モーター等) モーター等は、産業用ロボット向けで中国での需要減少の影響等により、受注、生産が低調に推移している一方で、航空機向けで航空機需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

(そ の 他) 車載部品は、受注、生産が堅調に推移しています。

一 般 機 械

(工 作 機 械) 工作機械は、半導体向け（生成A I、データセンター）が順調に推移しているものの、全体的には中国経済の減速の影響等により、受注、生産が低調に推移しています。

(金 型) 金型は、自動車関連（E V）向けで受注が増加しています。

(建 設 機 械) 建設機械は、海外向けの受注が減少しており、生産、販売に一服感がみられます。

(農業用機械等) 農業用機械等は、国内向けの需要が減少しており、低調に推移しています。

精 密

(時 計)

時計は、国内外ともに需要が堅調であり、受注、生産は好調に推移しています。

(レ ン ズ)

レンズは、自動車関連向けと映像関連向けで受注、生産が堅調に推移しています。

(計 器)

圧力計は、半導体関連を中心に、受注、生産は底堅く推移しています。LPガスメーターは、ガス用IoT関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

自 動 車 部 品

自動車部品は、一部自動車メーカーの生産の落ち込みにより、受注、生産が弱含んでいます。

食 料 品

(味 そ)

味そは、受注、生産が堅調に推移しているものの、原材料価格の高騰等により収益率の低下がみられます。

(酒 類)

酒類は、国内市場の縮小や物価高騰の影響による消費マインドの落ち込みにより、受注、生産が弱含んでいます。

(飲 料)

飲料は、受注、生産が堅調に推移しています。

繊 維 ・ 衣 服

繊維・衣服は、季節的要因により、受注、販売が増加しています。

紙 ・ パ ル プ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が減少しています。

印 刷

印刷は、印刷・製本の需要の低迷などにより、低調に推移しています。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和6年1月）と比較したD Iは $\Delta 12.0$ となり、5期連続のマイナス水準であり、前回調査時（令和6年10月）の $\Delta 7.7$ より4.3ポイント悪化しました。

3か月前（令和6年10月）と比較したD Iは $\Delta 25.0$ となり、6期連続のマイナス水準であり、前回調査時の $\Delta 13.6$ より11.4ポイント悪化しました。

また、3か月後（令和7年4月）の予想では、D Iは $\Delta 8.1$ となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、資材価格の高騰や人材不足により売上高D I、受注件数D I、収益率D Iが悪化し、マイナス水準が続いていることから、業況D Iは $\Delta 25.7$ と前回（ $\Delta 18.2$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 6.4$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、システムやハード機器の受注増により売上高D I、受注件数D Iが改善し、価格転嫁等により販売価格D I、収益率D Iも改善したことから、業況D Iは50.0と前回（8.3）より大幅に改善し、2期連続のプラス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、 ± 0.0 です。

ウ 小売業

小売業では、消費者の買い控え等により客数D Iが悪化し、仕入価格や人件費の高騰により収益率D Iのマイナス水準が続いていることから、業況D Iは $\Delta 26.7$ と前回（ $\Delta 22.0$ ）より悪化し、6期連続のマイナス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 16.7$ です。

エ 卸売業

卸売業では、インバウンド需要等により取引先数D Iが改善した一方、仕入価格の価格転嫁が思うように進んでいないことにより収益率D Iは悪化したことから、業況D Iは ± 0.0 と前回（11.8）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、17.6です。

オ 飲食業

飲食業では、消費者の節約志向等より売上高D I、客数D Iが悪化したことから、業況D Iは3.7と前回（12.5）よりも悪化したものの、堅調なインバウンド需要等もあり2期連続のプラス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 8.0$ です。

カ 宿泊業

宿泊業では、人件費や光熱費等の高騰により収益率D Iが悪化し、業況D Iは50.0と前回（68.8）より悪化しているものの、好調なインバウンド需要がけん引しプラス水準を維持しています。

3か月後の業況D Iは、15.4です。

景気動向調査集計結果

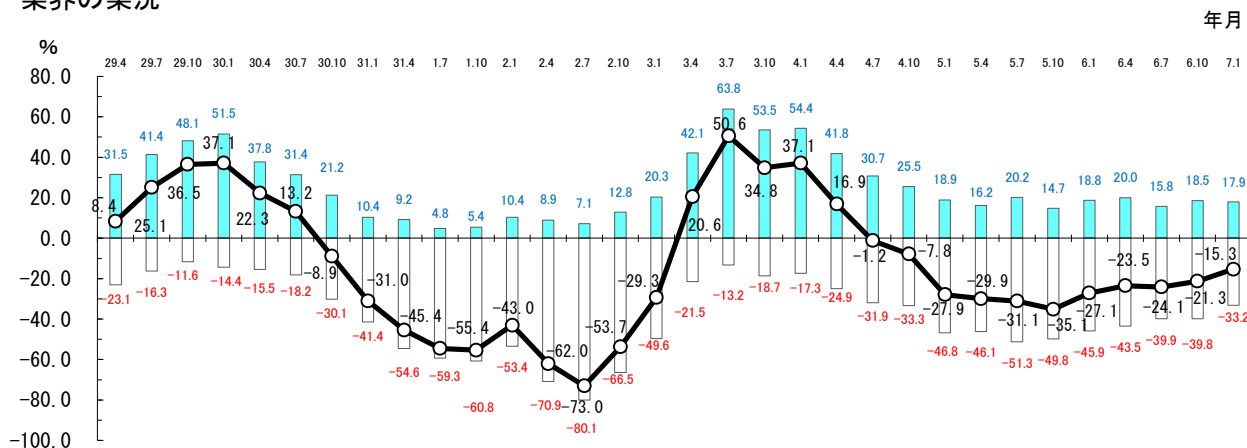
(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。

折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

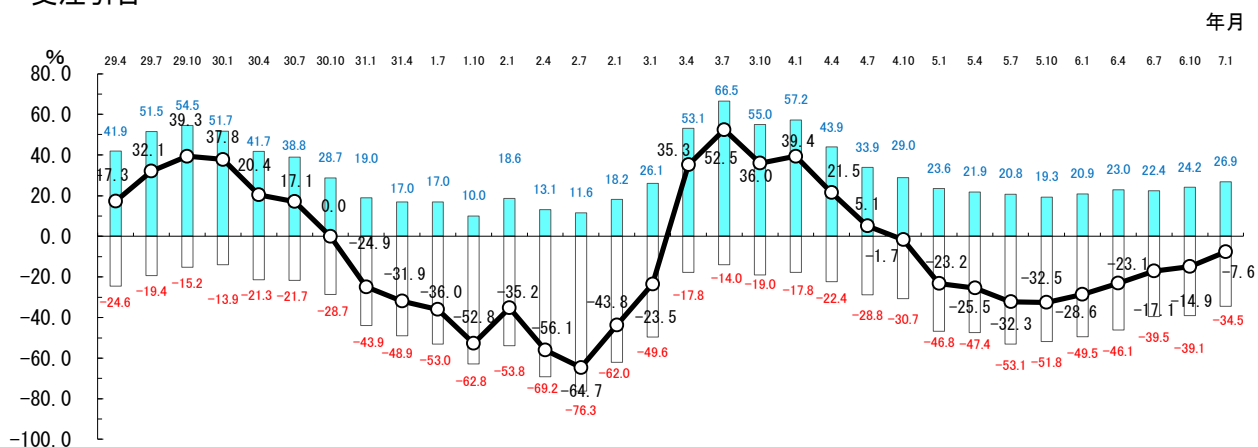
1 製造業

（１）前年同期に比べて

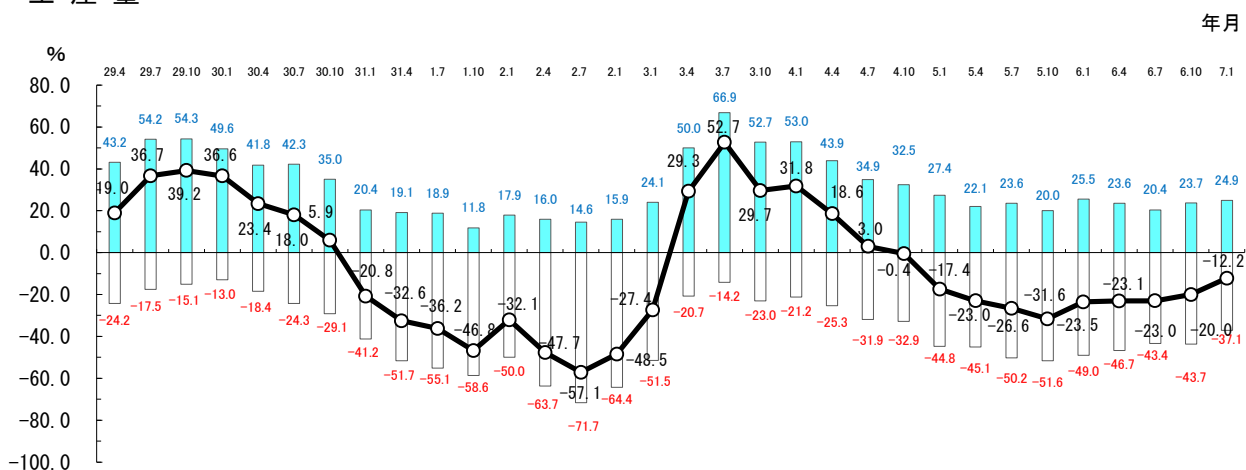
業界の業況



受注引合

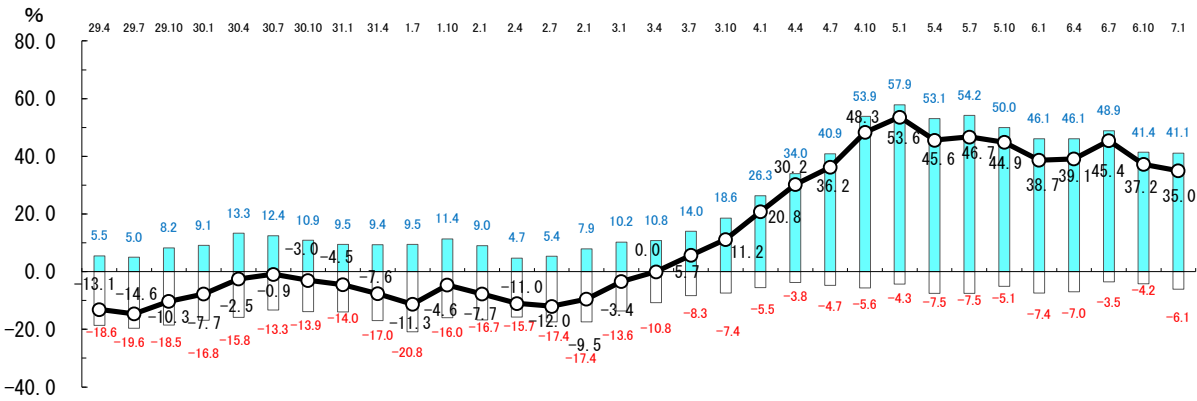


生産量



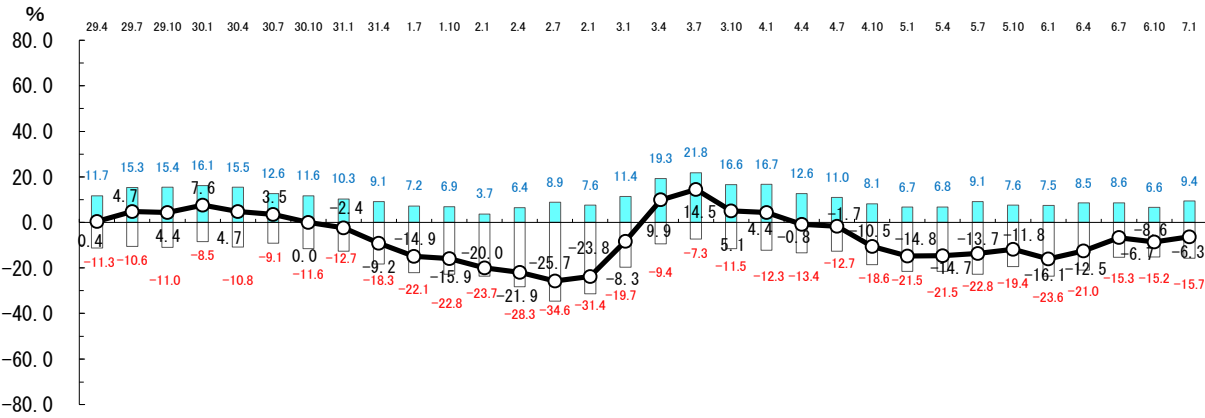
製品販売価格

年月



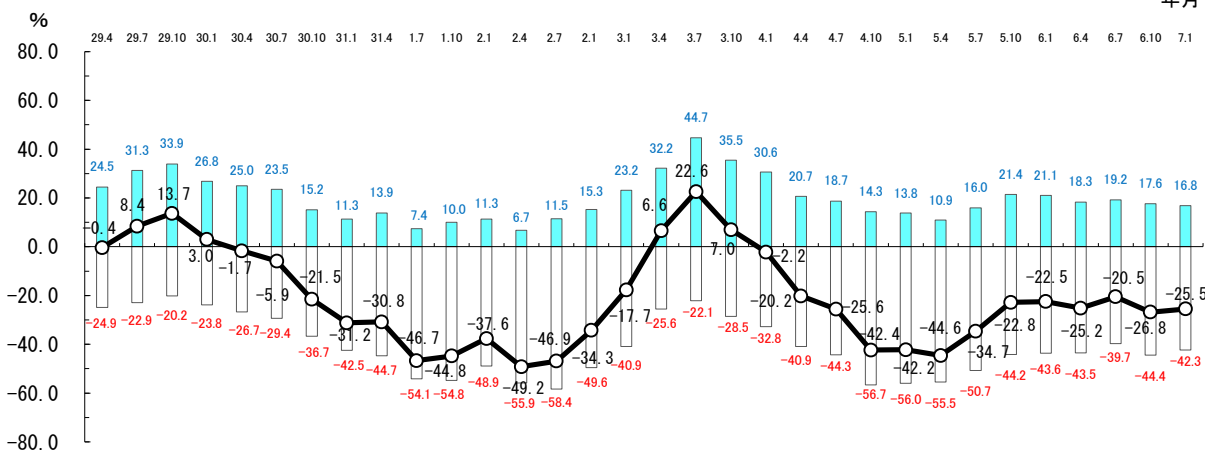
資金繰り

年月



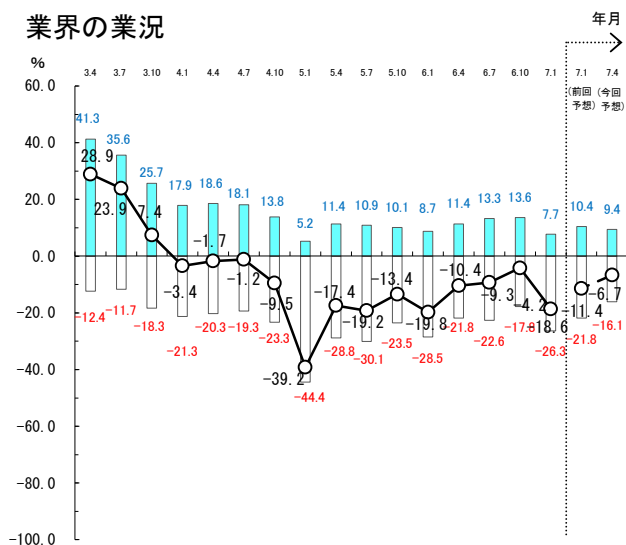
収 益 率

年月

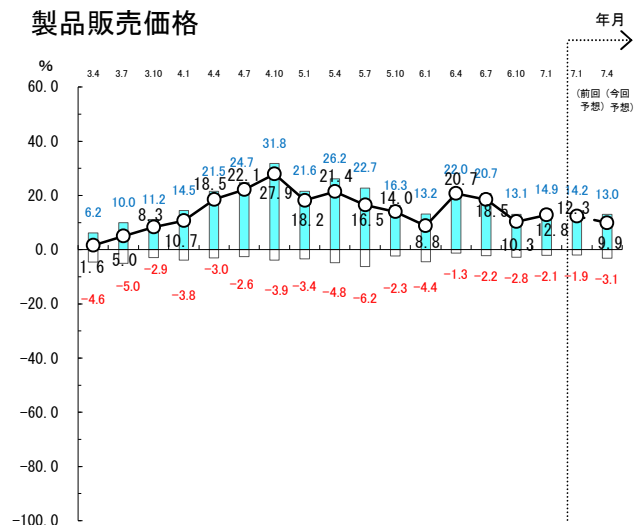


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

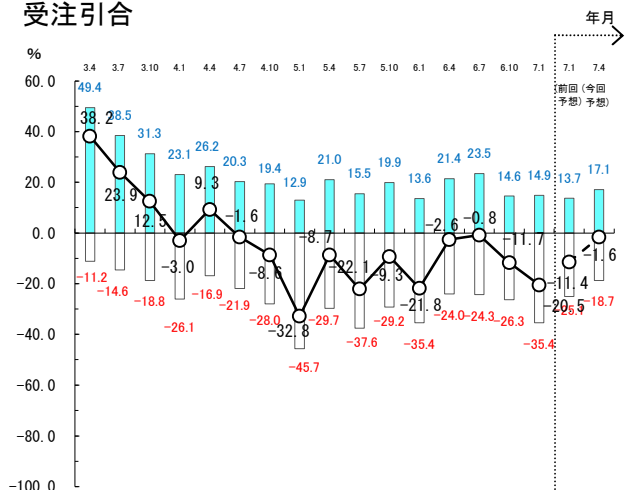
業界の業況



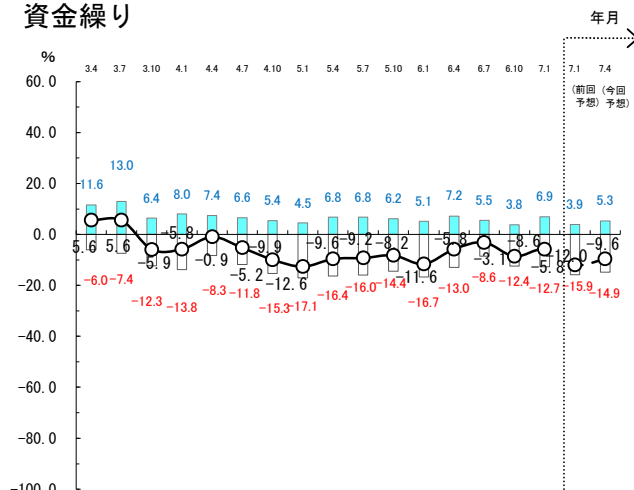
製品販売価格



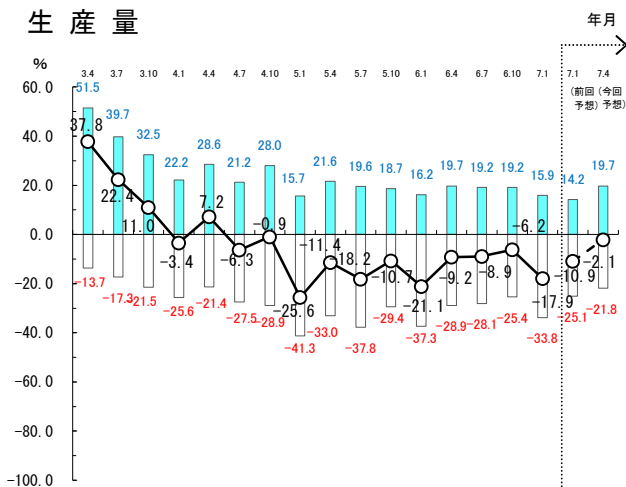
受注引合



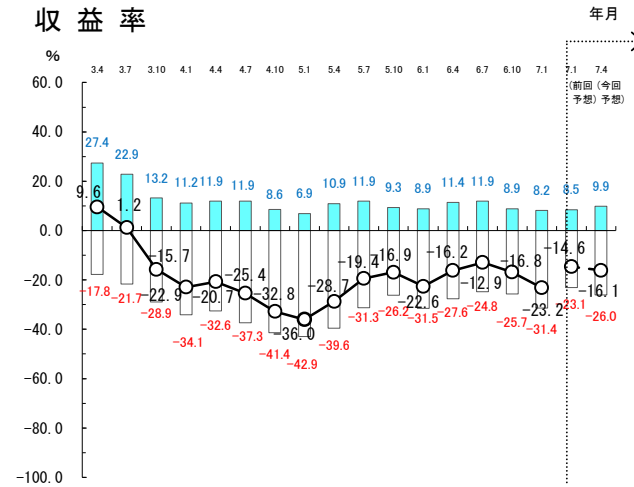
資金繰り



生産量



収益率

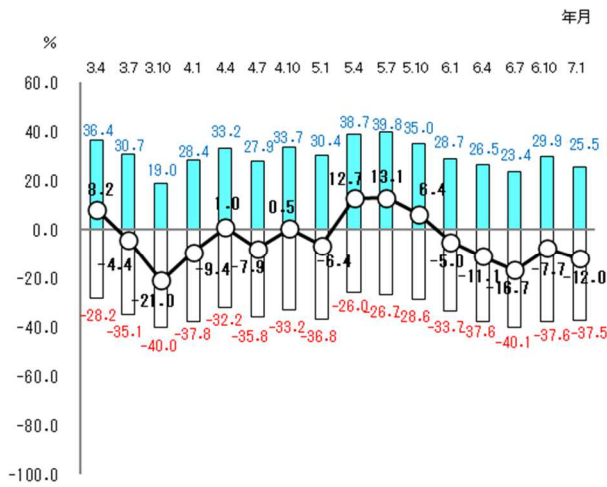


2 非製造業

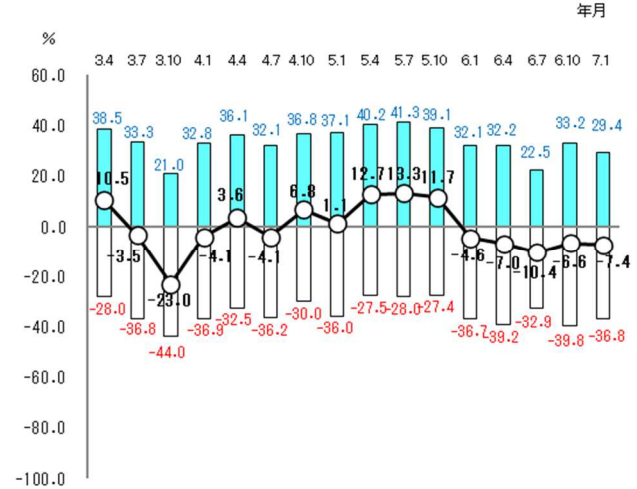
非製造業全体

(1) 前年同期に比べて

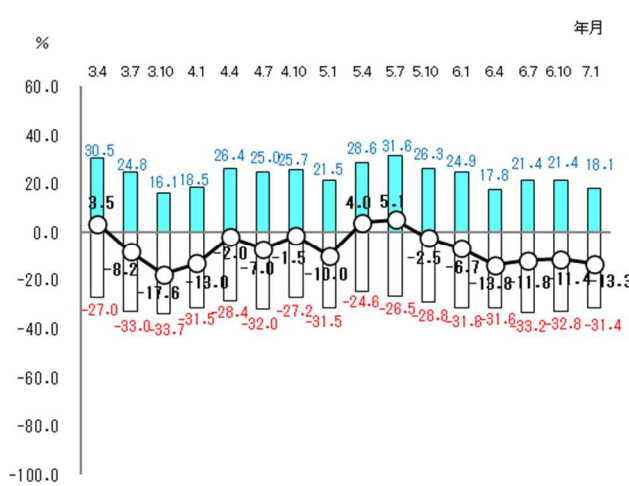
業況



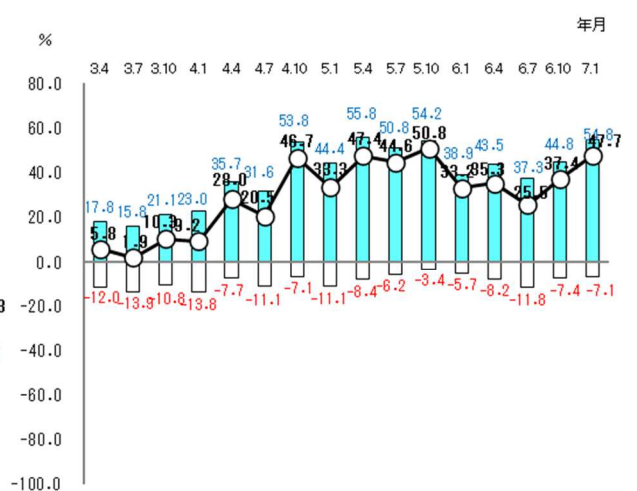
売上高



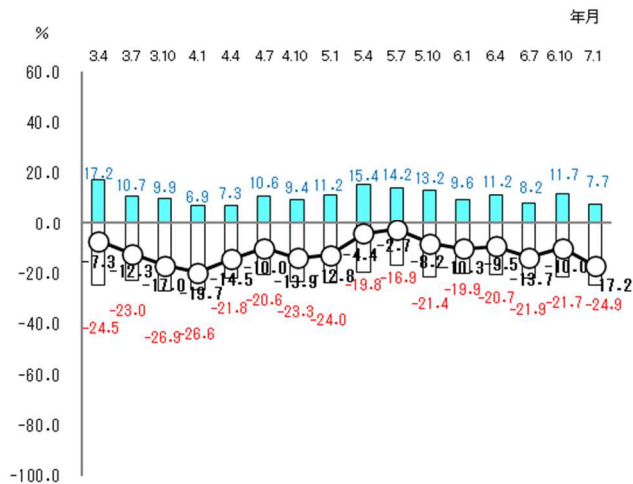
客数 (受注件数・取引先数)



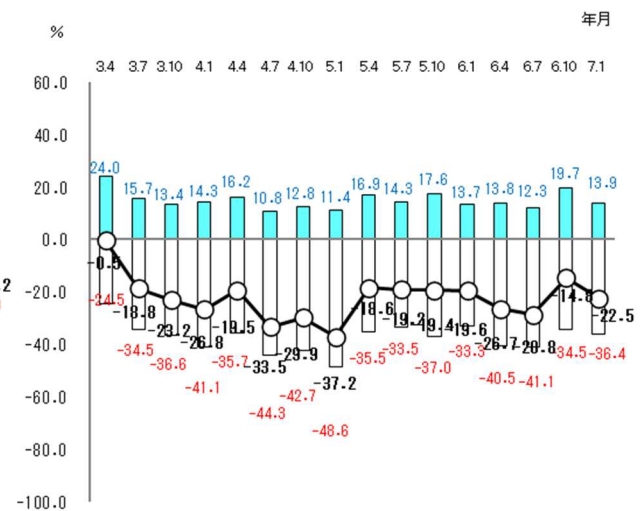
販売価格



資金繰り

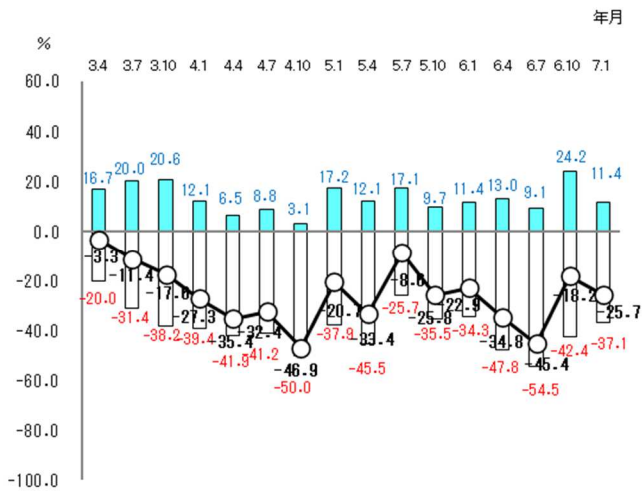


収益率

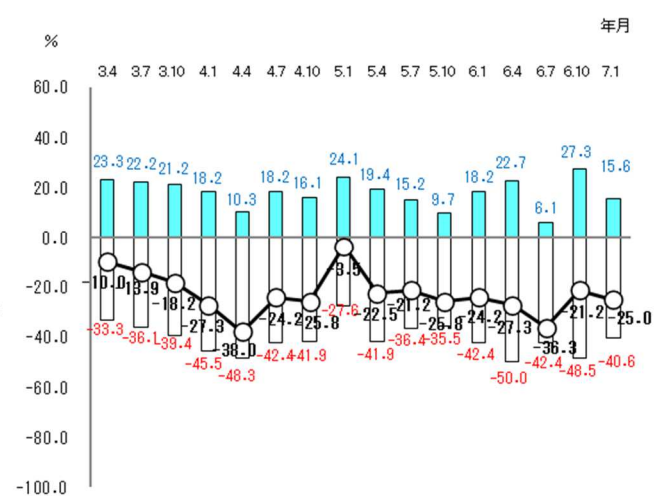


ア 建設業

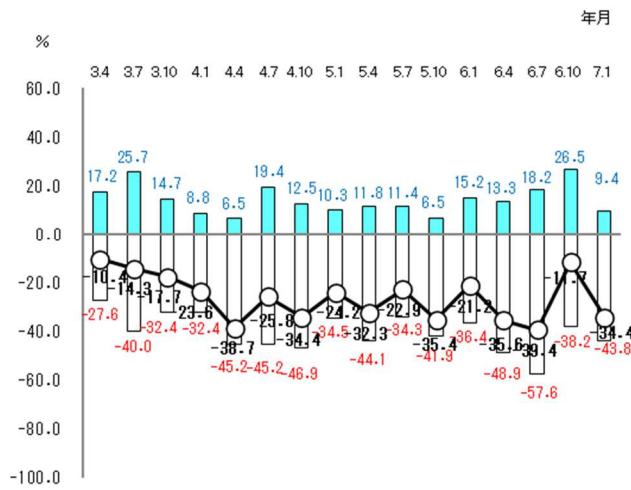
業況



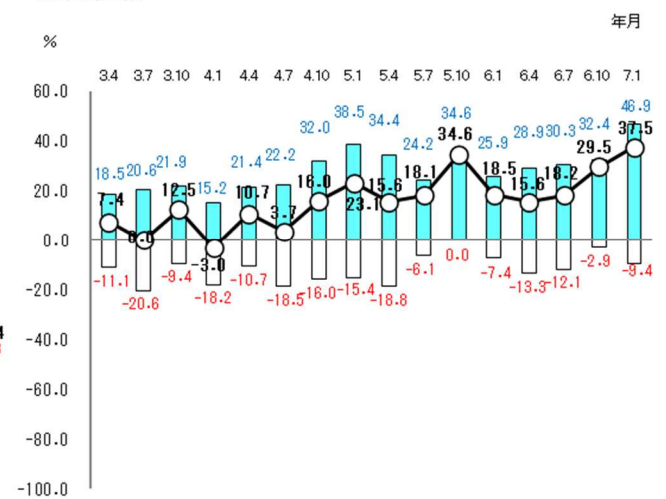
売上高



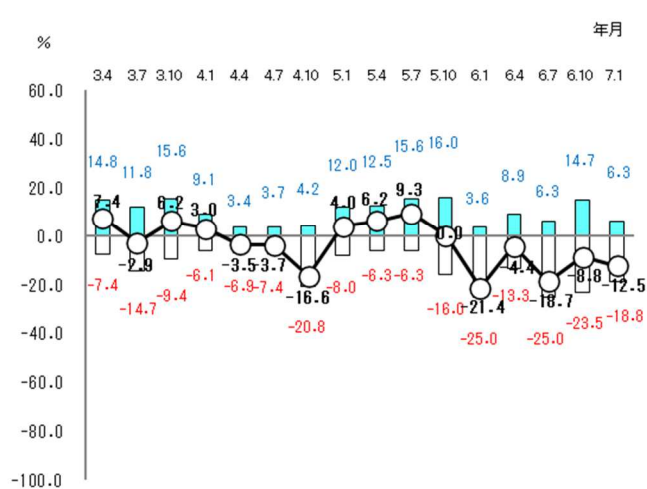
客数 (受注件数)



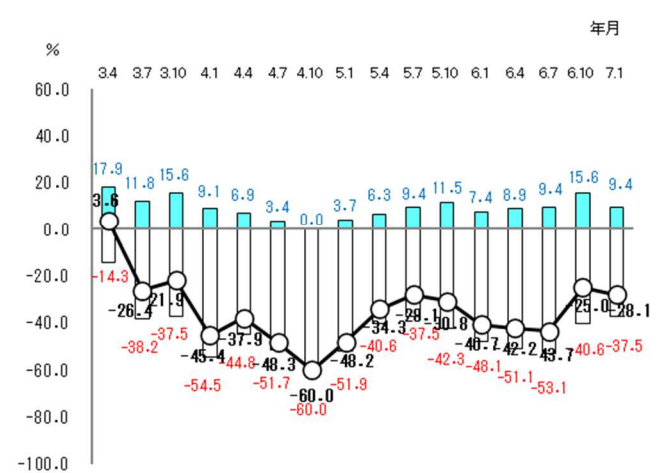
販売価格



資金繰り

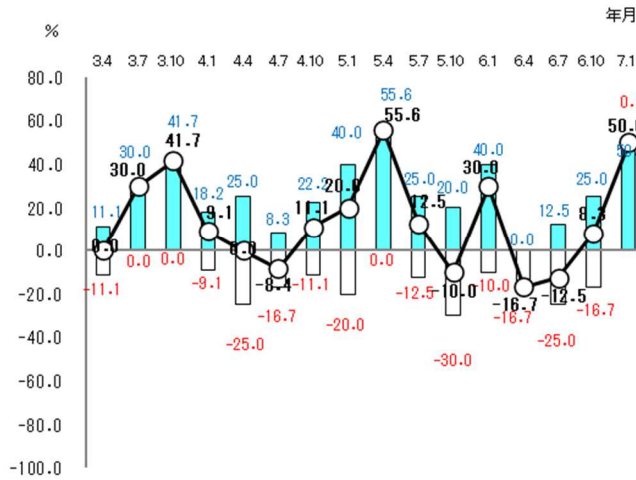


収益率

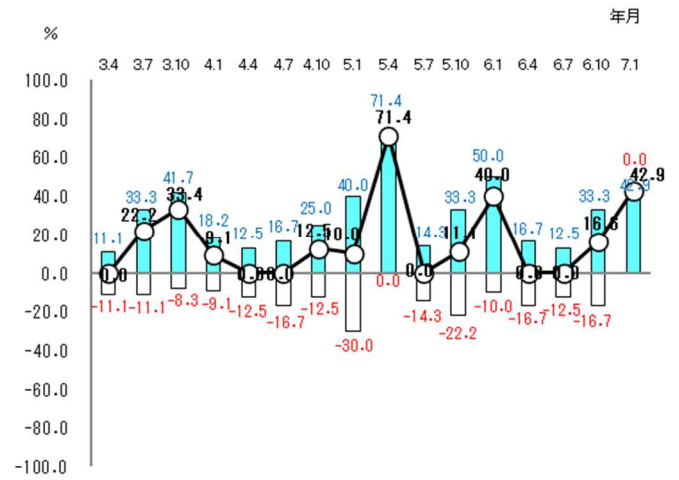


イ 情報サービス業

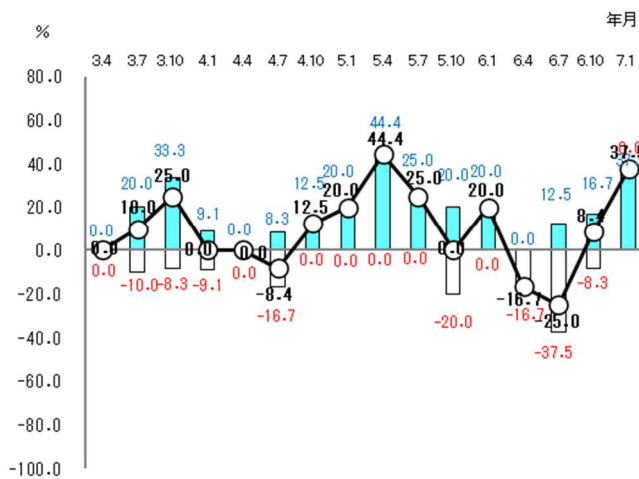
業況



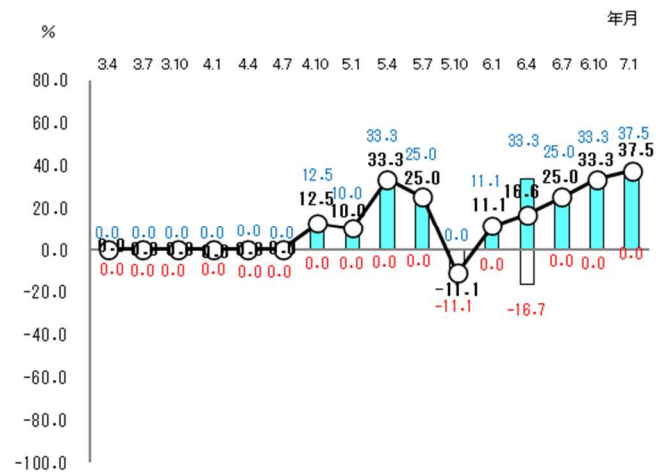
売上高



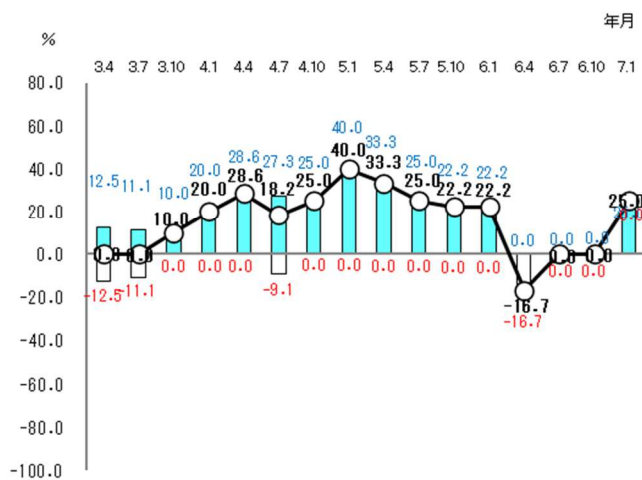
客数 (受注件数)



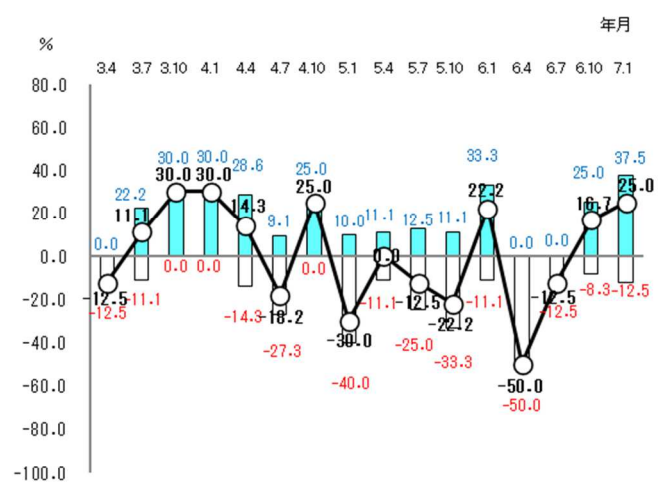
販売価格



資金繰り

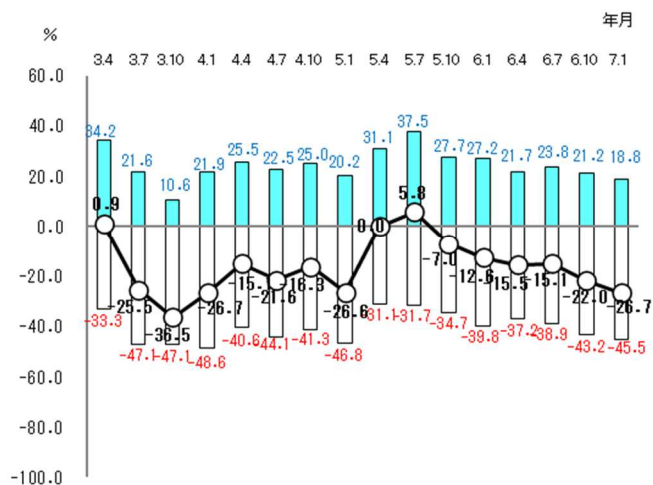


収益率

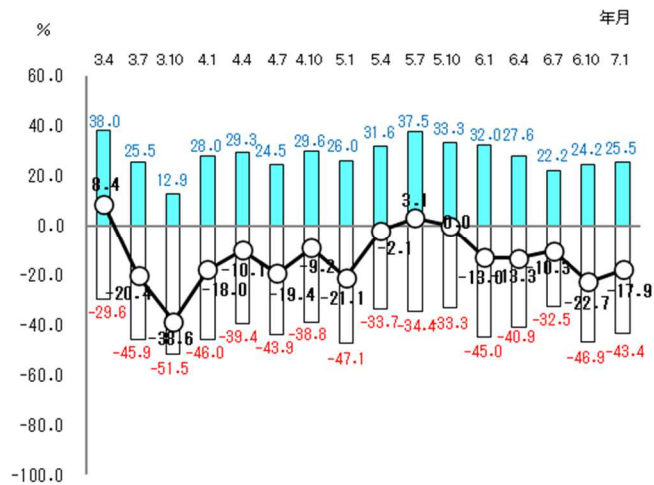


ウ 小売業

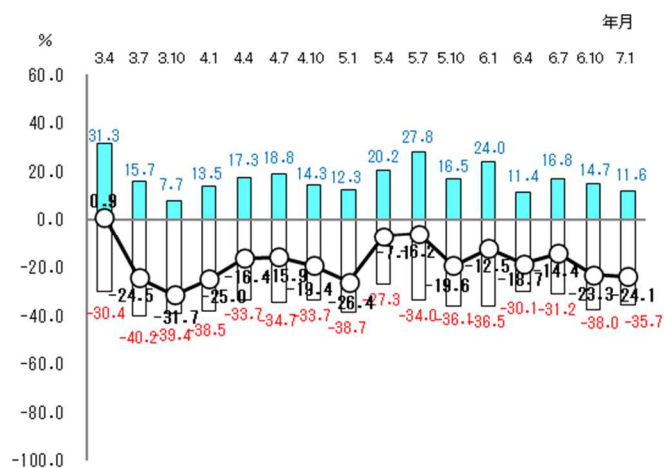
業況



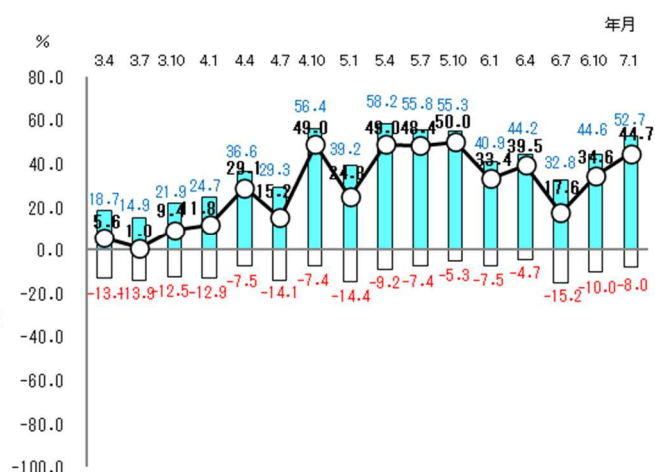
売上高



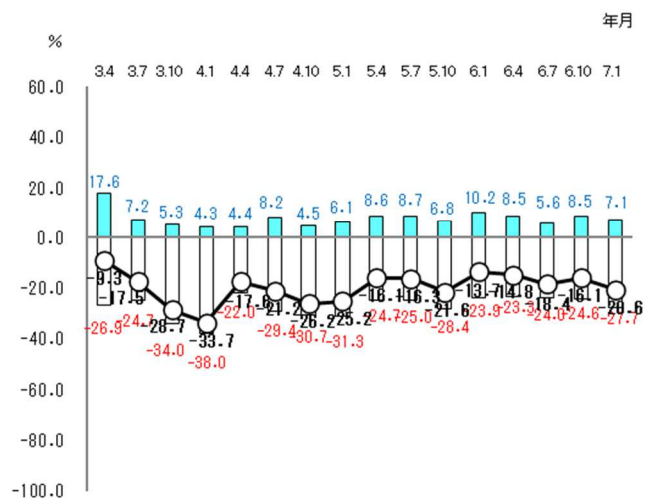
客数



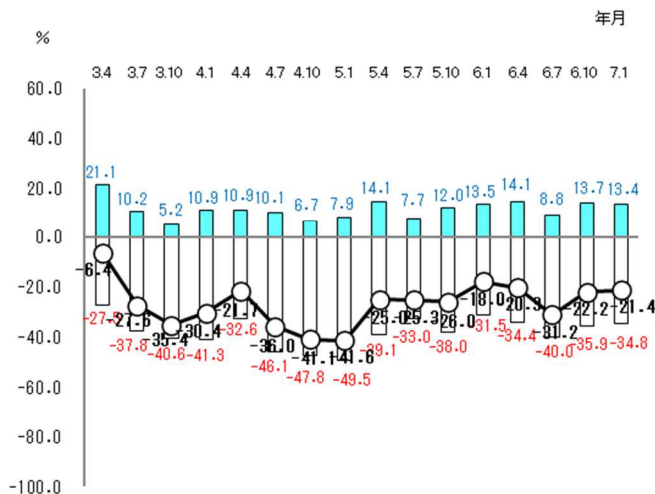
販売価格



資金繰り

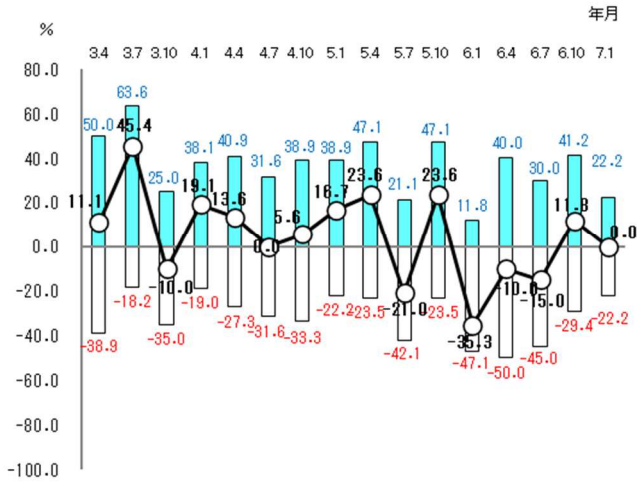


収益率

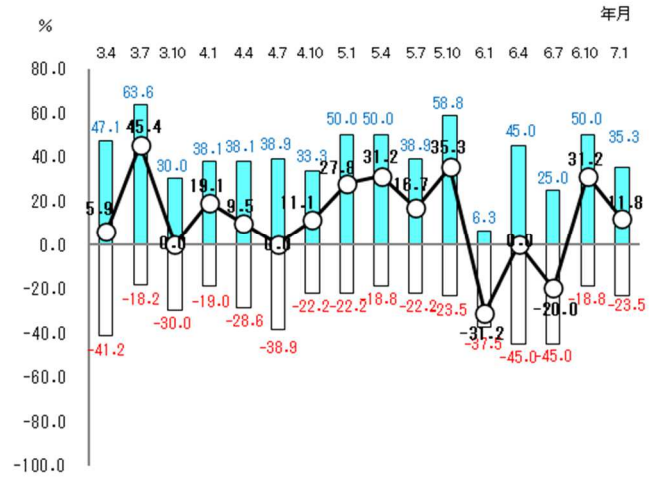


工 卸売業

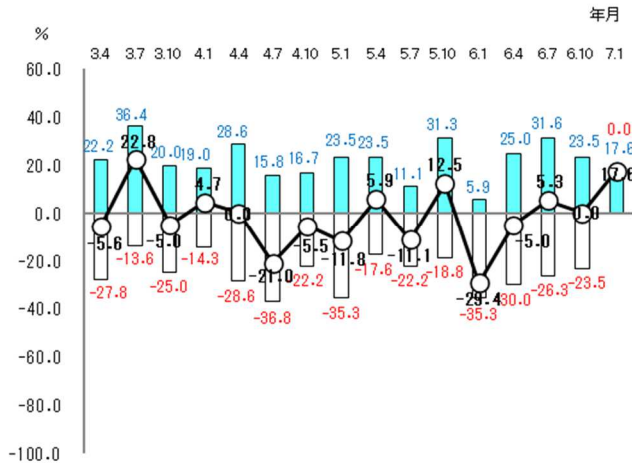
業況



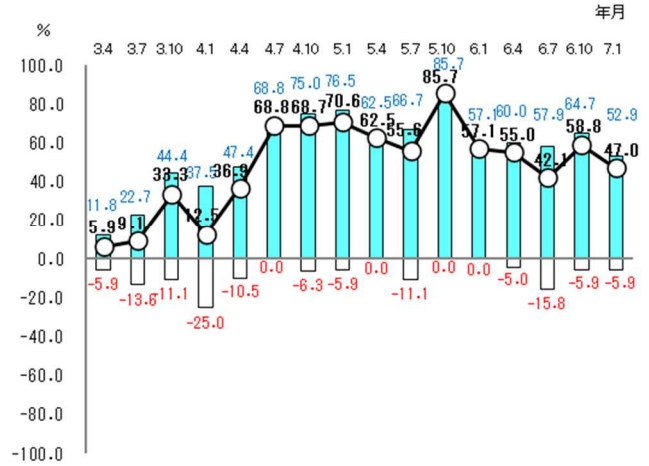
売上高



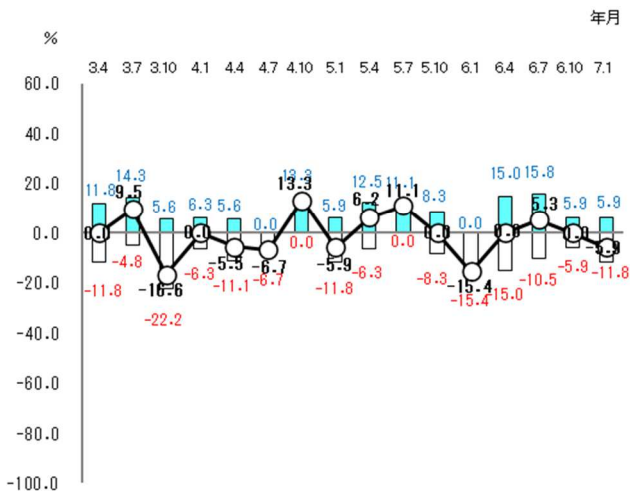
客数 (取引先数)



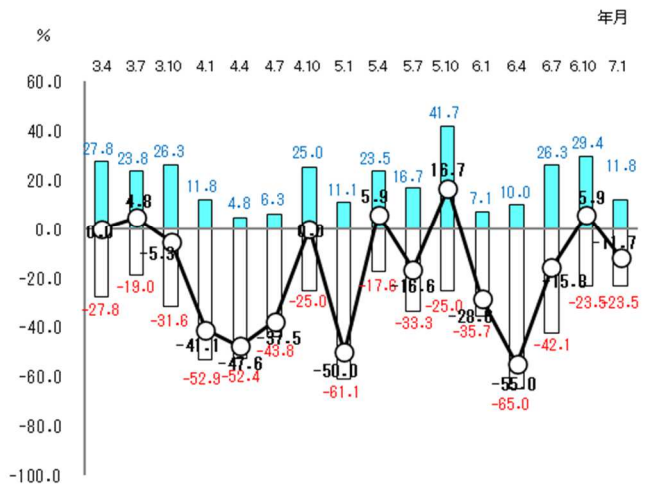
販売価格



資金繰り

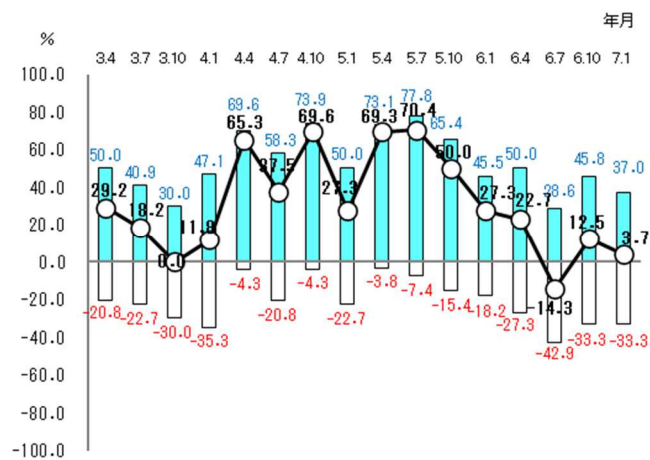


収益率

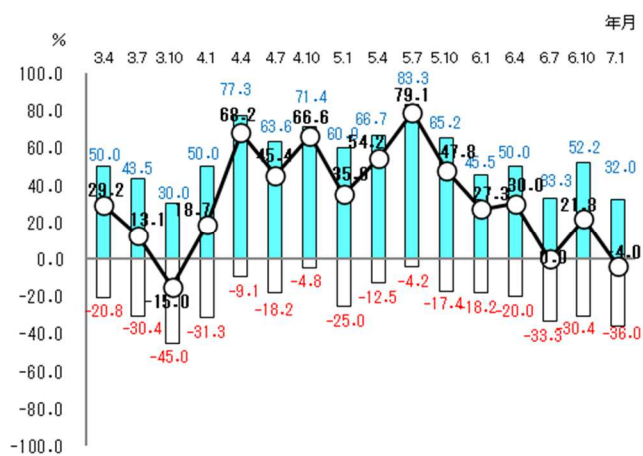


才 飲食業

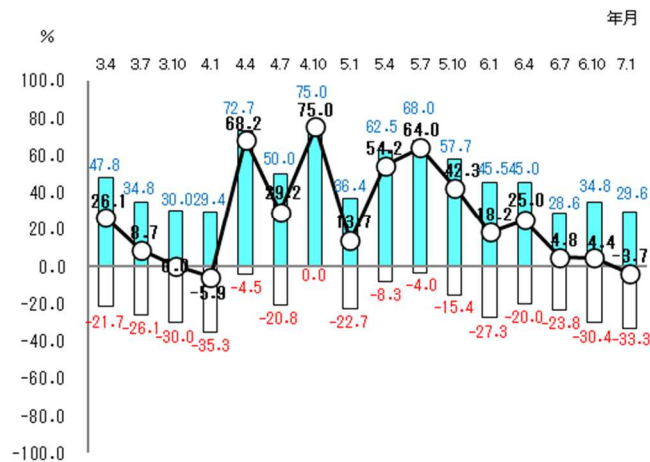
業況



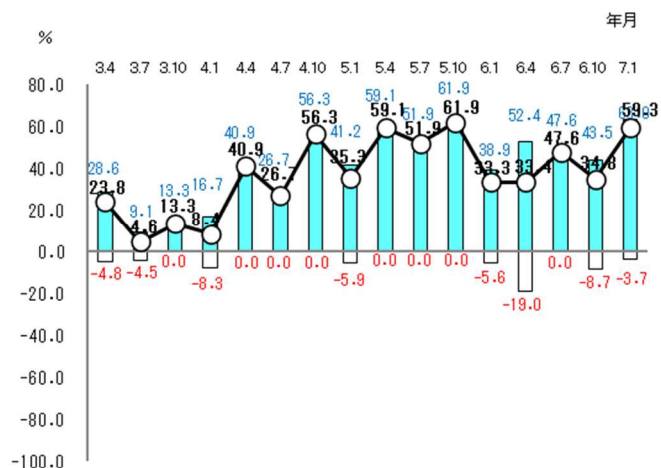
売上高



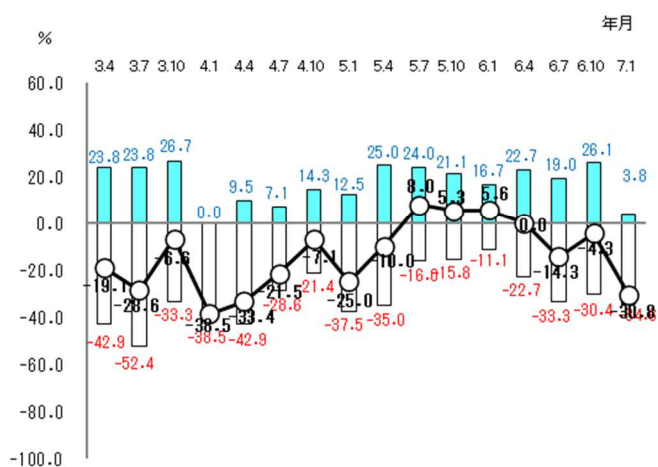
客数



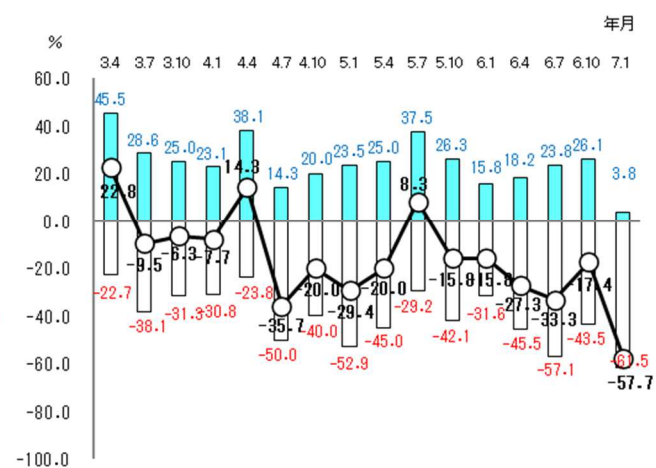
販売価格



資金繰り

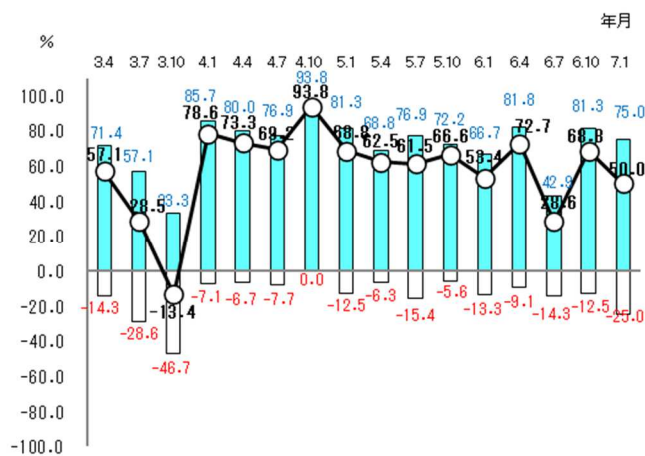


収益率

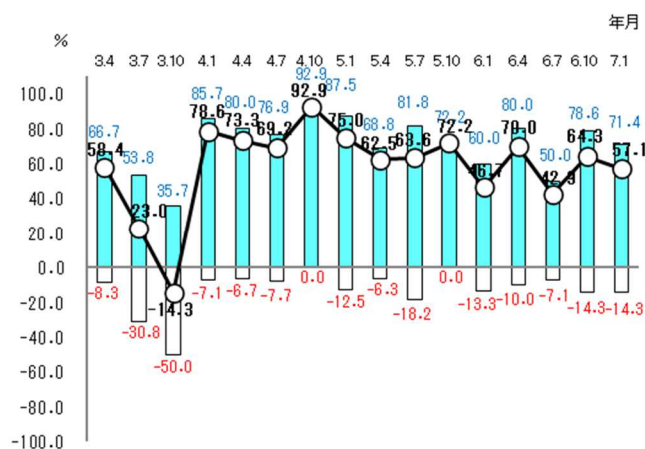


力 宿泊業

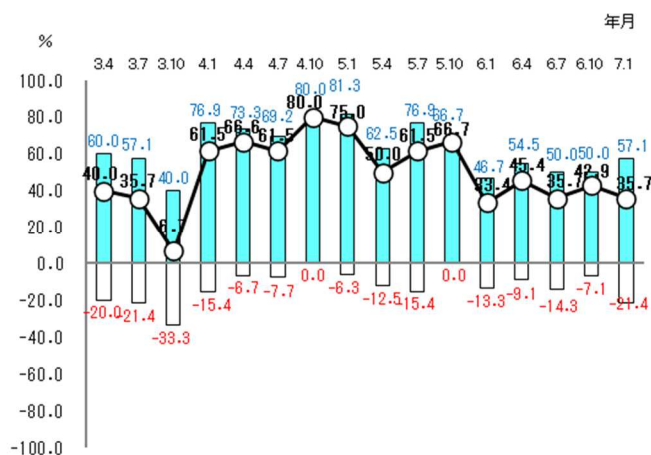
業況



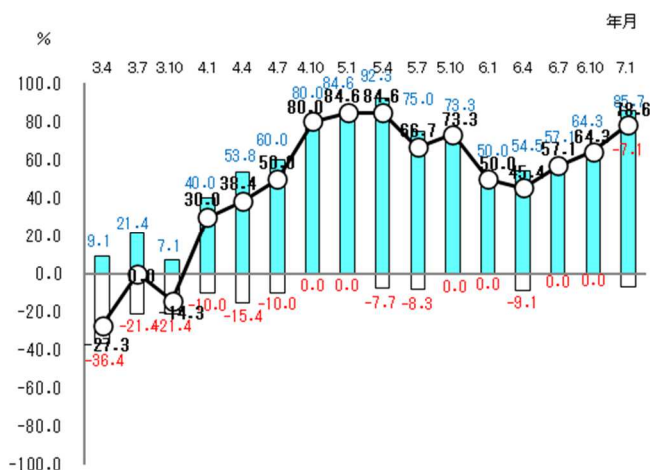
売上高



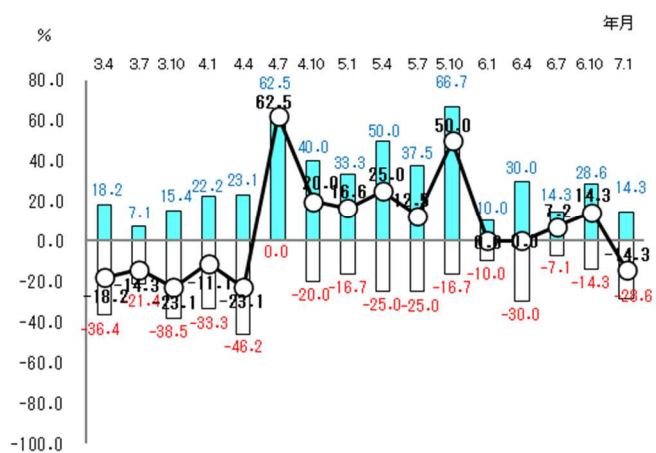
客数



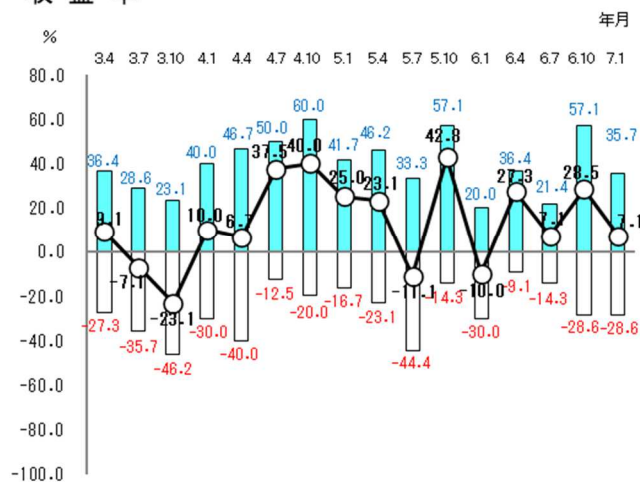
販売価格



資金繰り

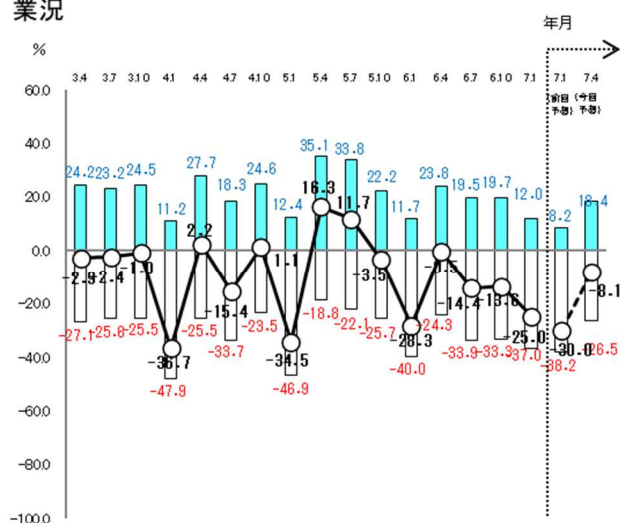


収益率

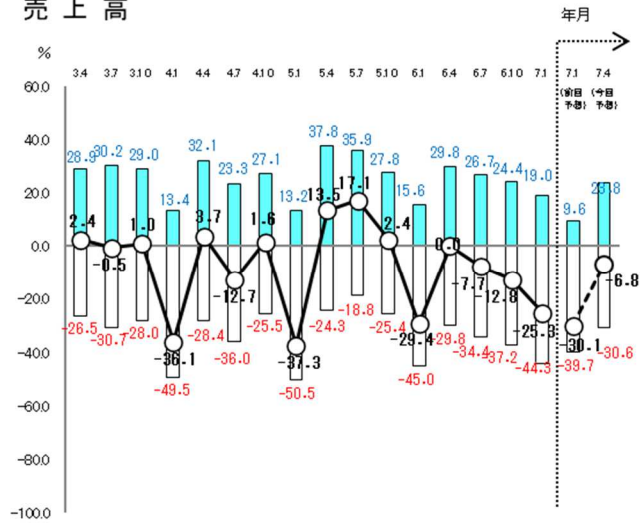


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想
非製造業全体

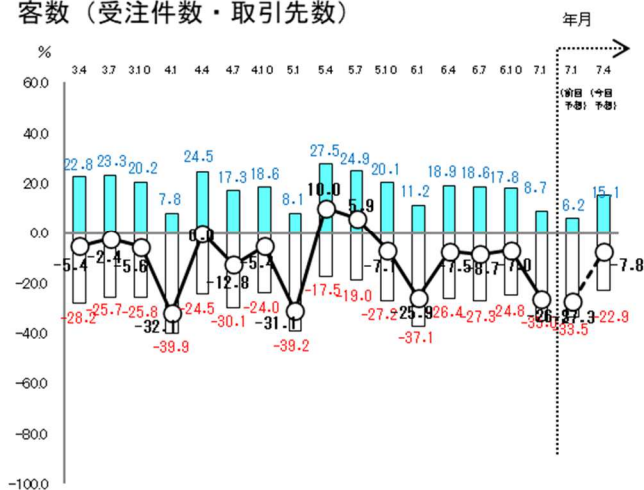
業況



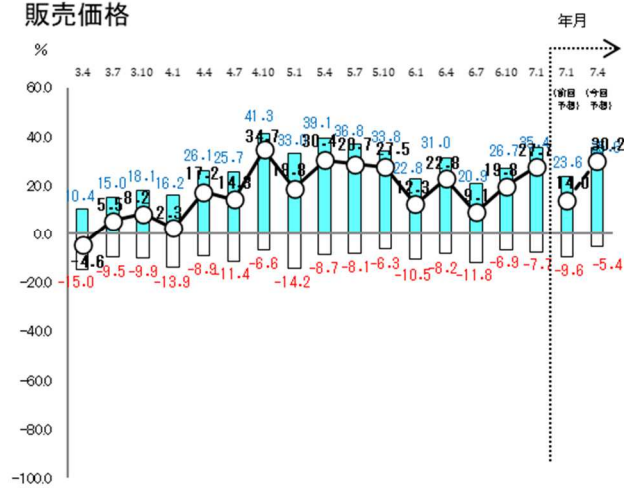
売上高



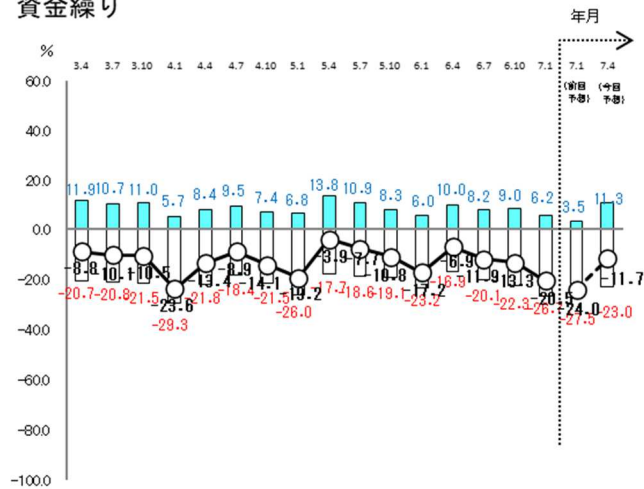
客数 (受注件数・取引先数)



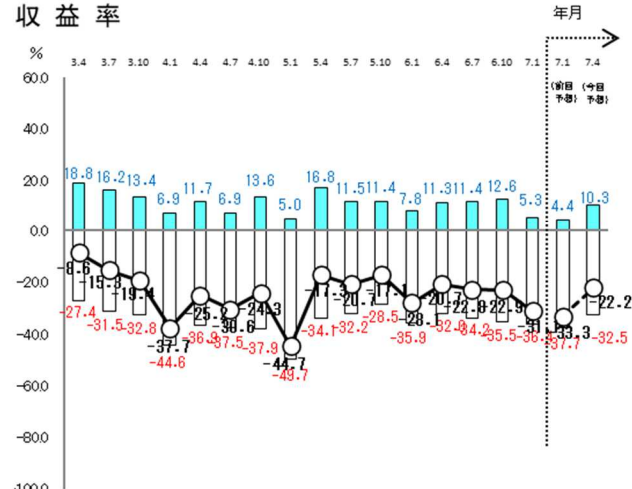
販売価格



資金繰り

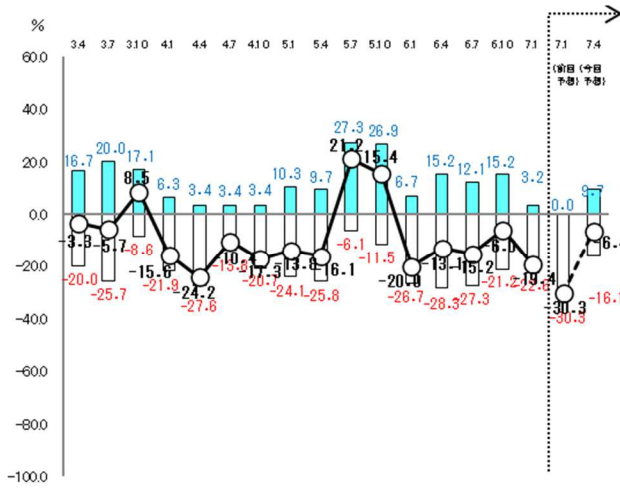


収益率

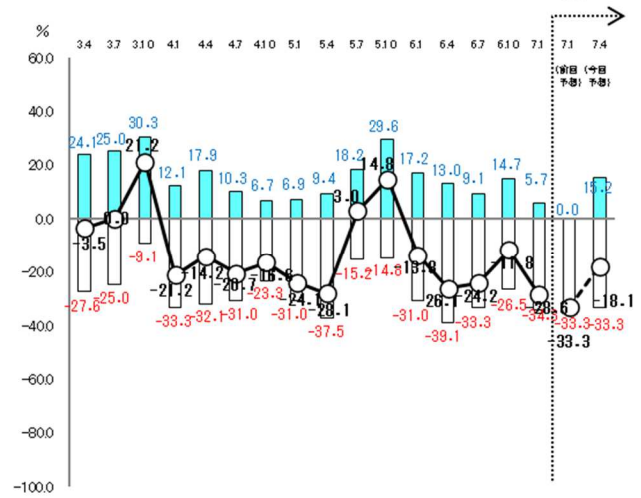


ア 建設業

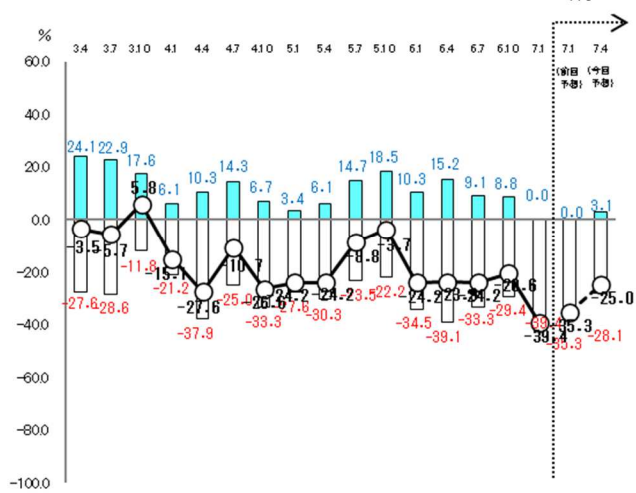
業況



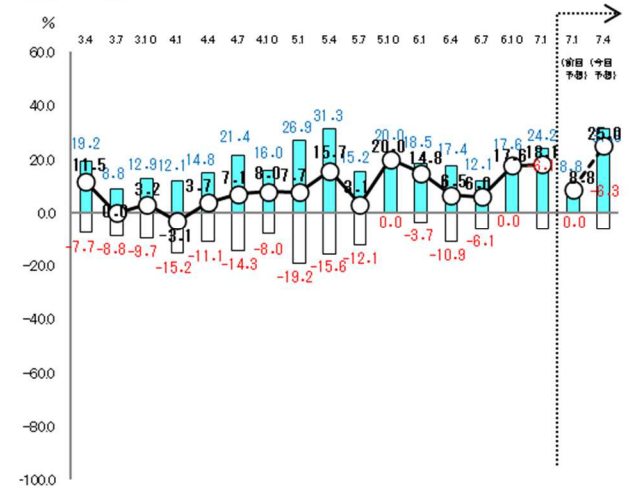
売上高



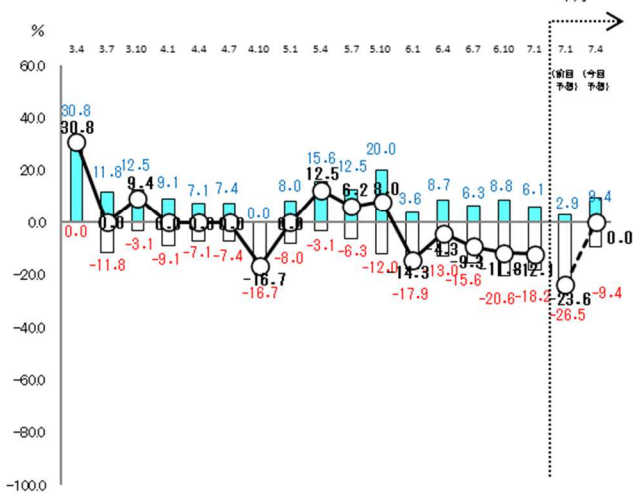
客数 (受注件数)



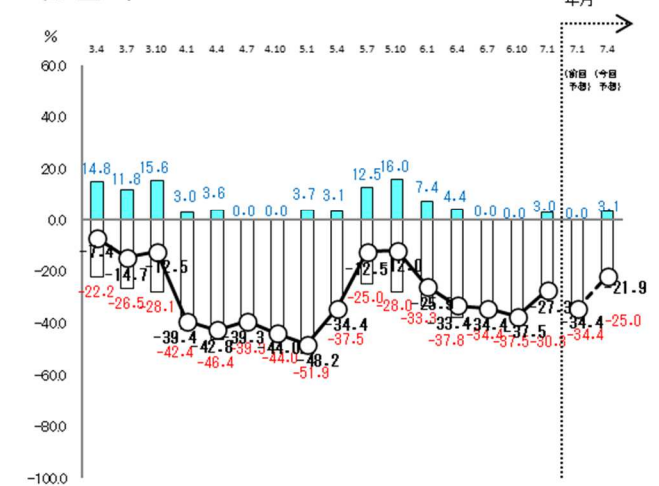
販売価格



資金繰り

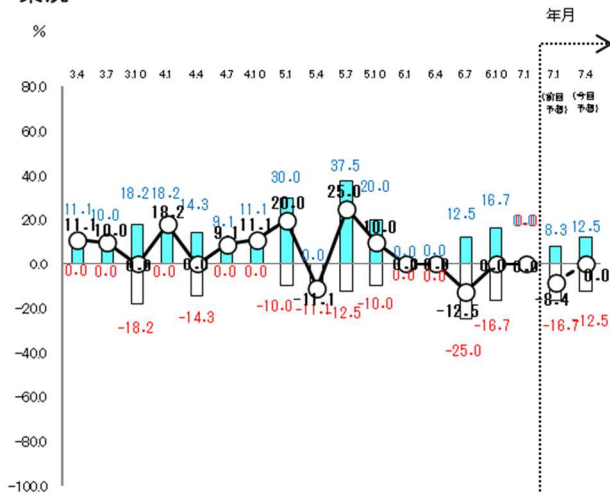


収益率

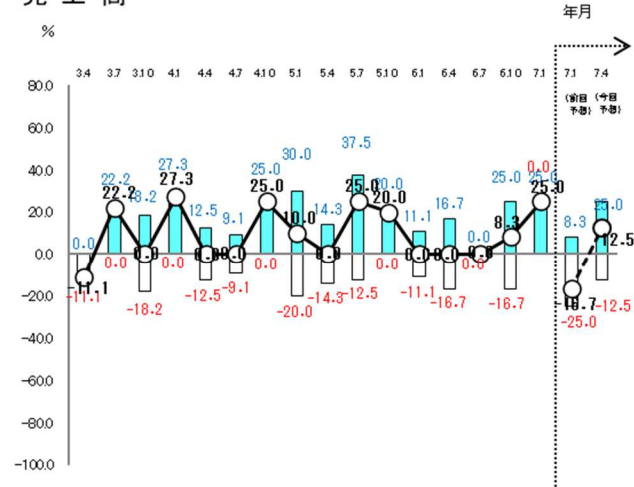


イ 情報サービス業

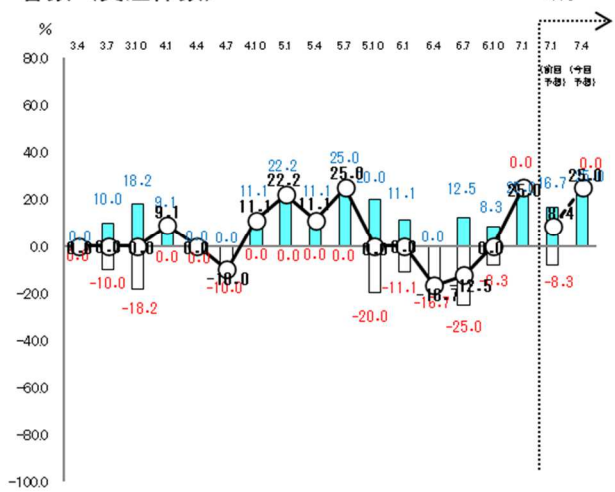
業況



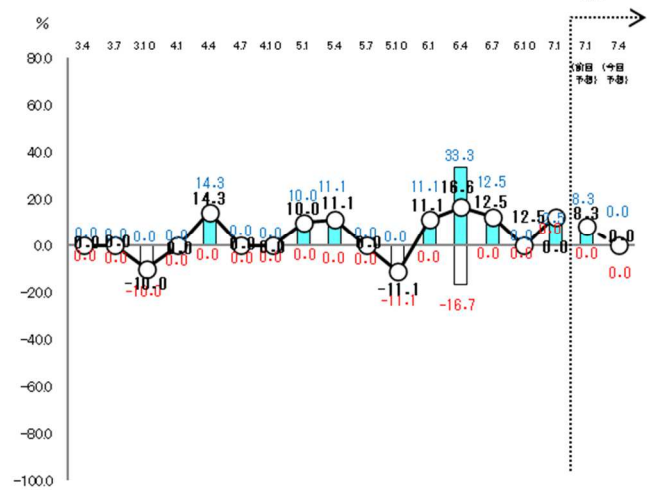
売上高



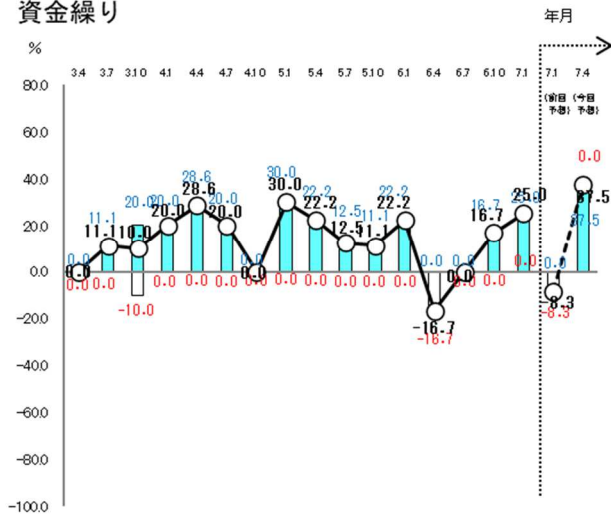
客数 (受注件数)



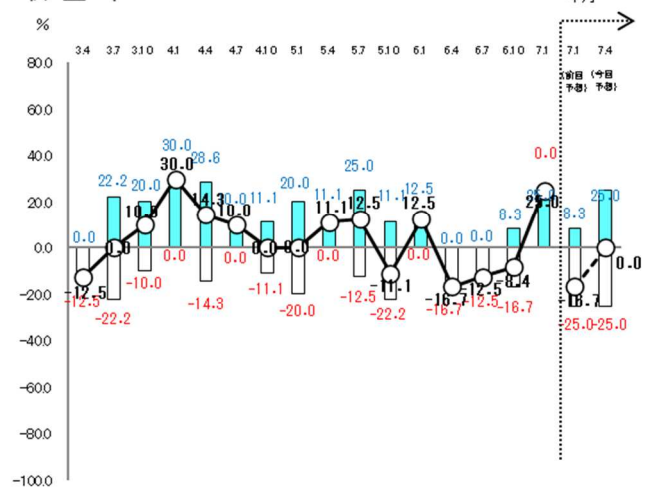
販売価格



資金繰り

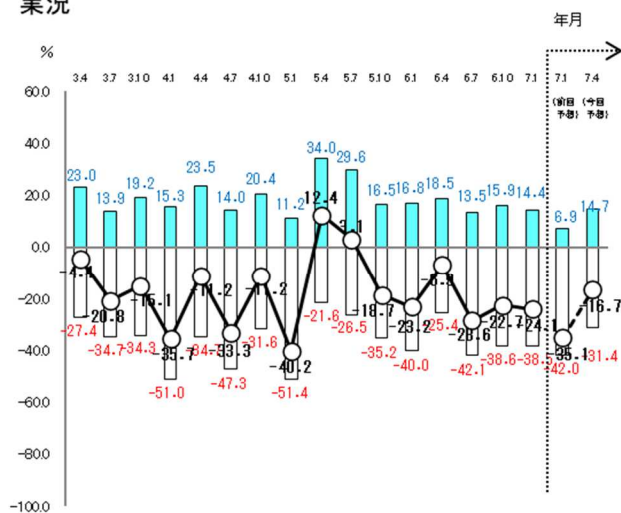


収益率

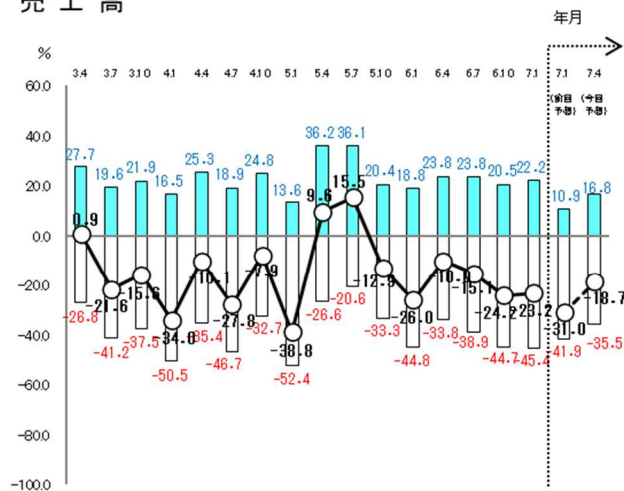


ウ 小売業

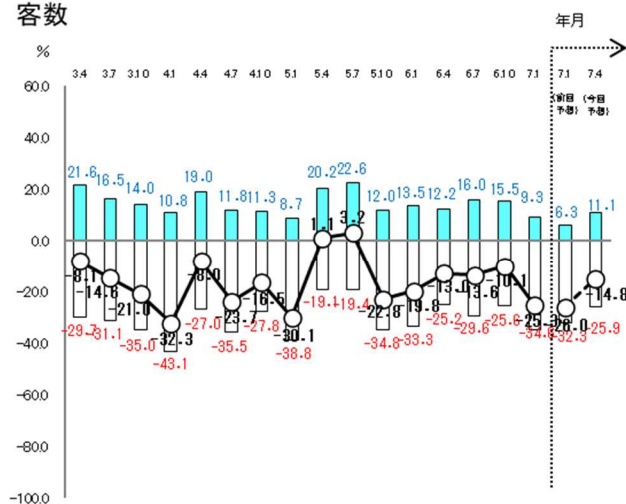
業況



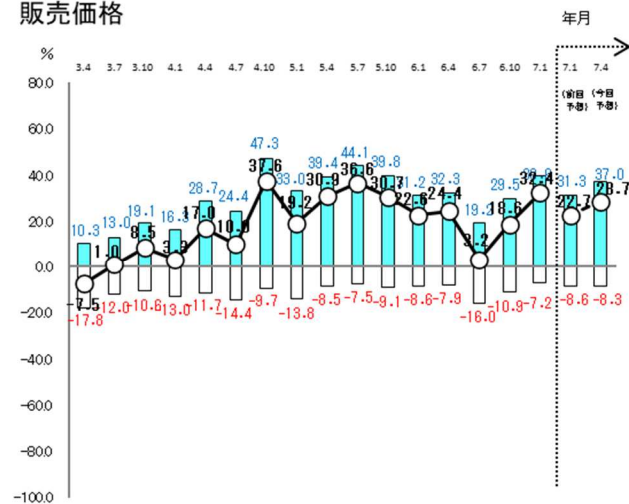
売上高



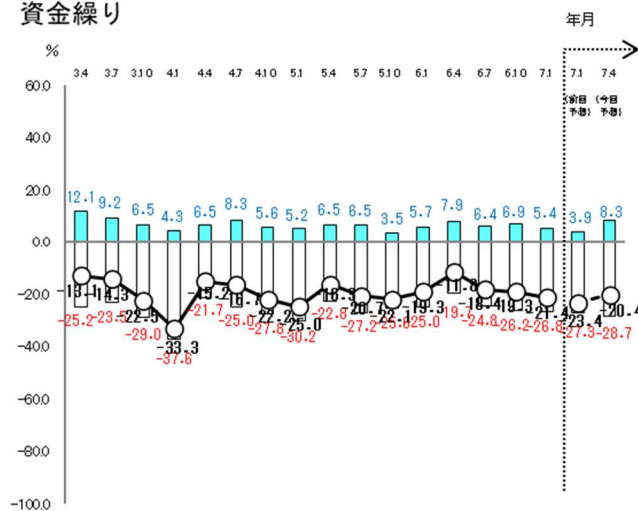
客数



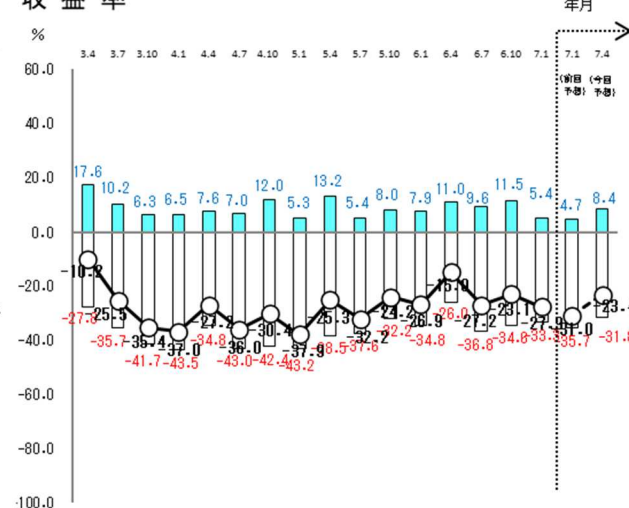
販売価格



資金繰り

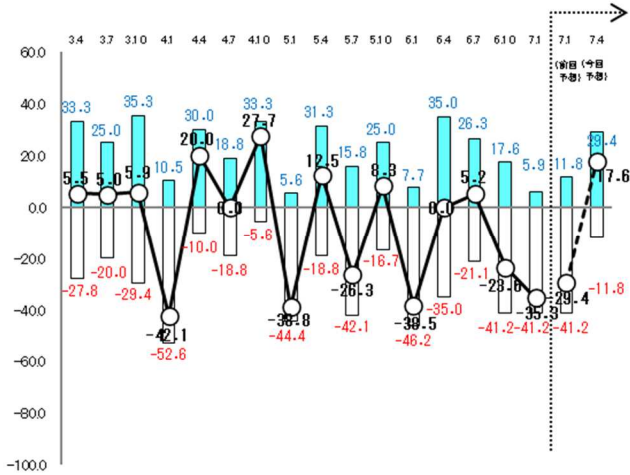


収益率

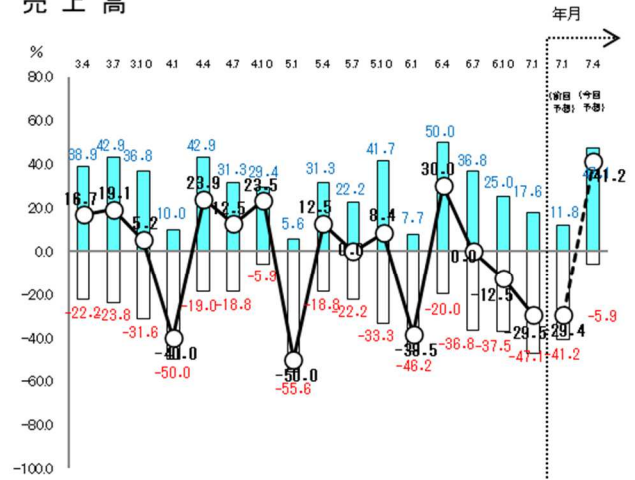


工 卸売業

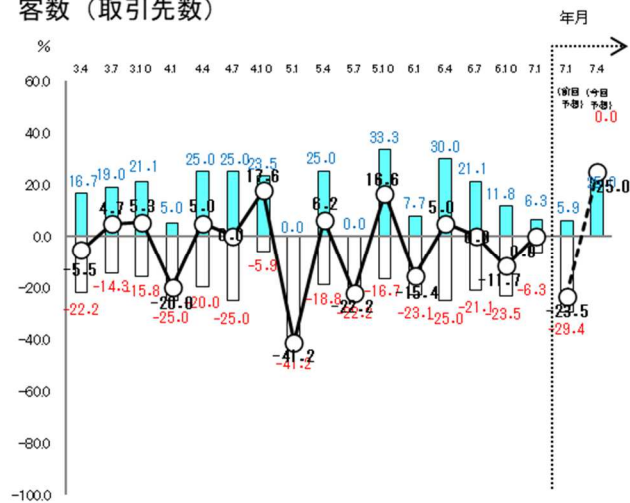
業況



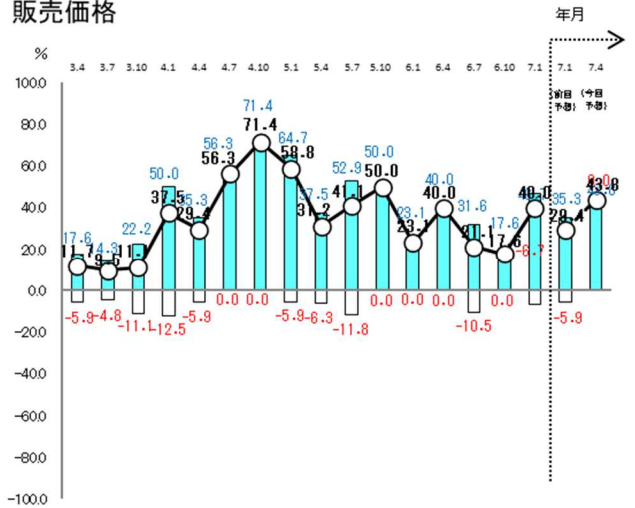
売上高



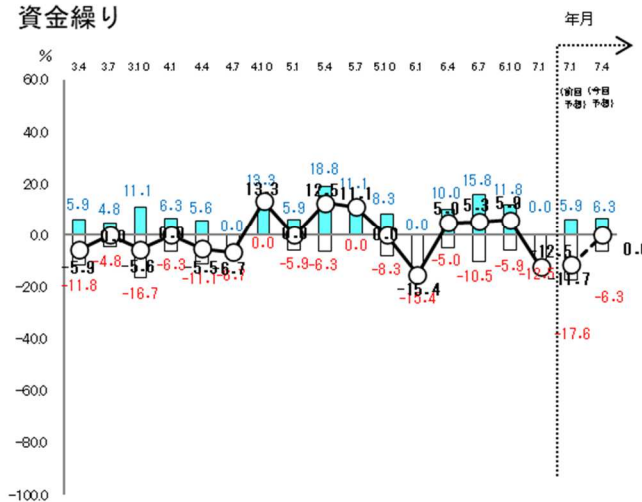
客数 (取引先数)



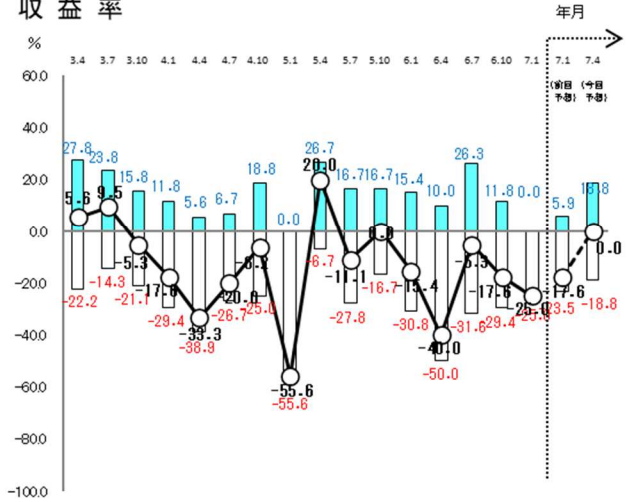
販売価格



資金繰り

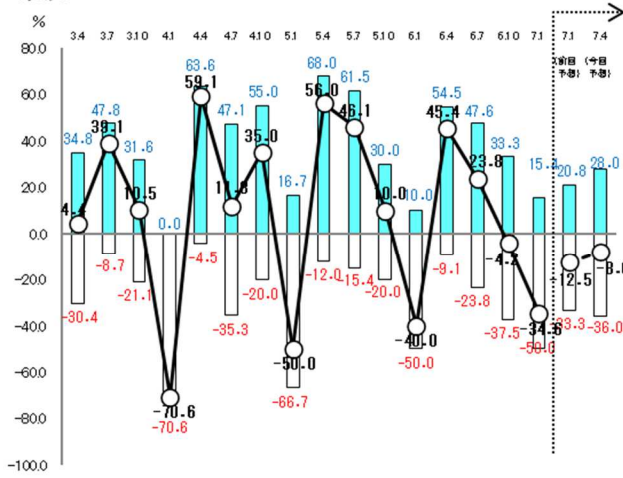


収益率

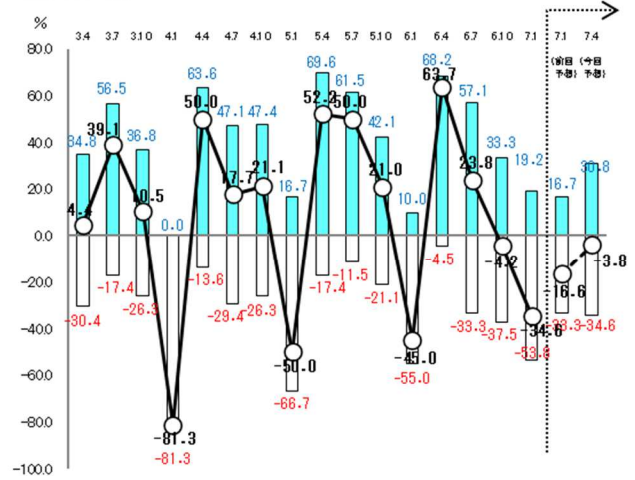


才 飲食業

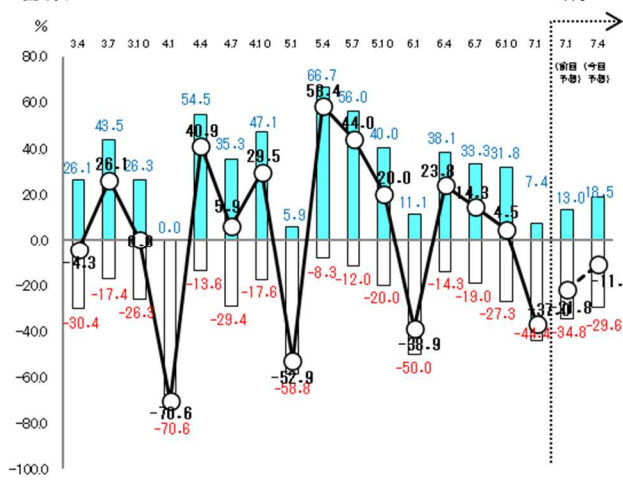
業況



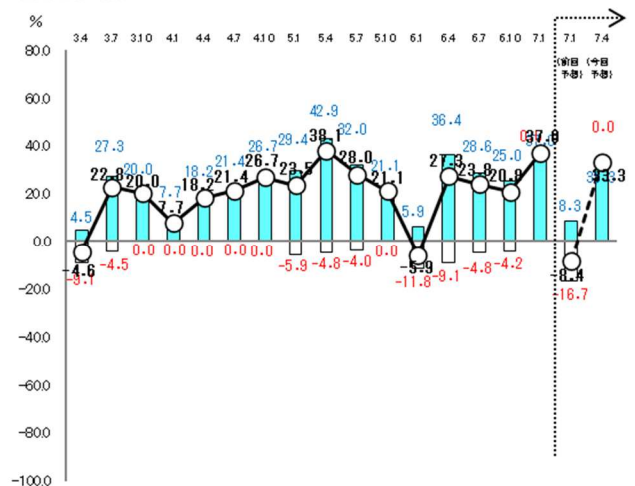
売上高



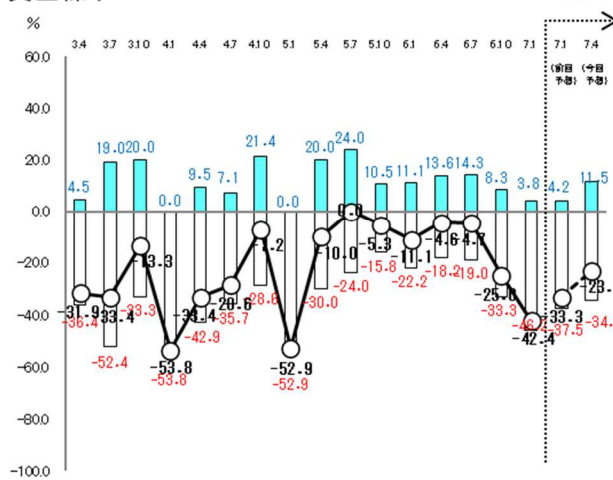
客数



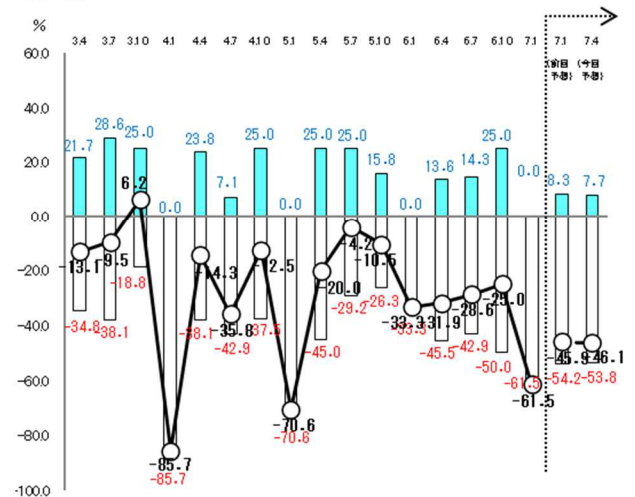
販売価格



資金繰り

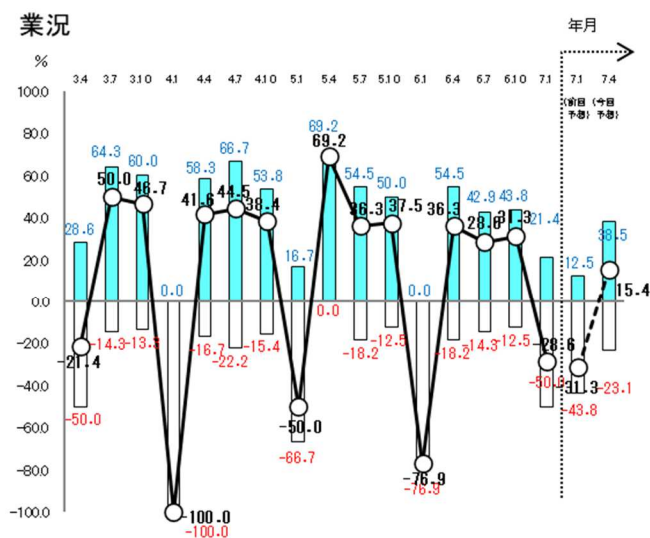


収益率

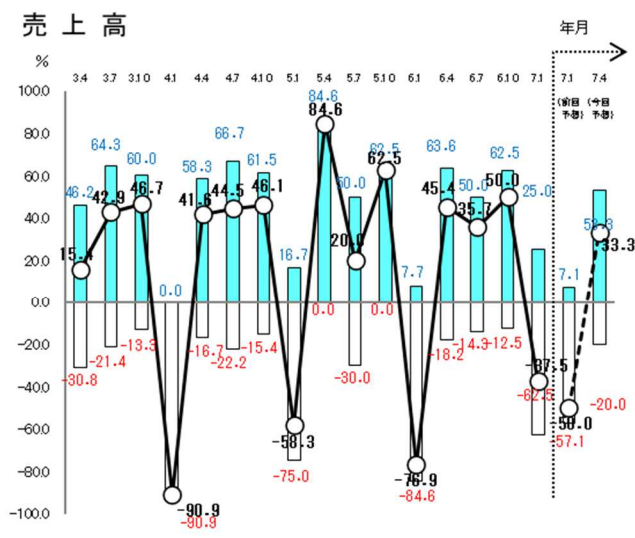


力 宿泊業

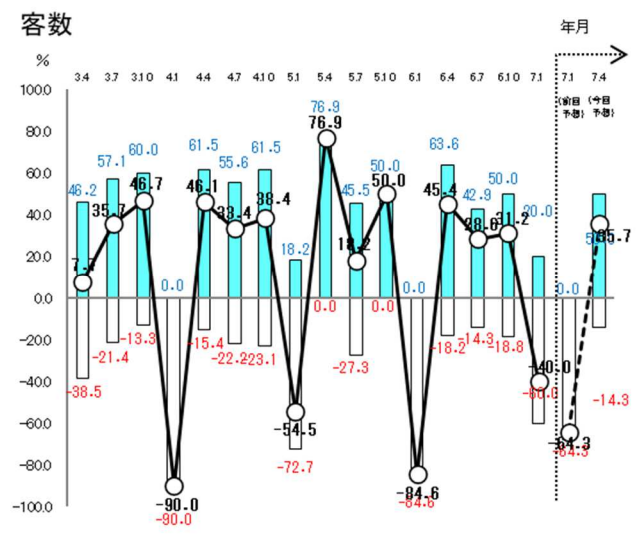
業況



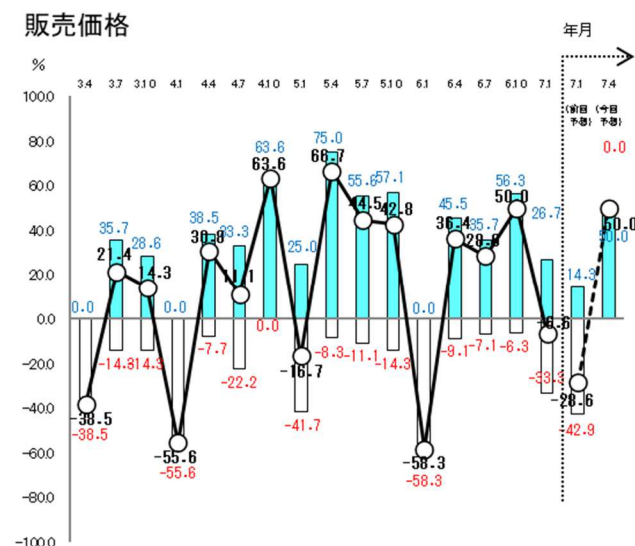
売上高



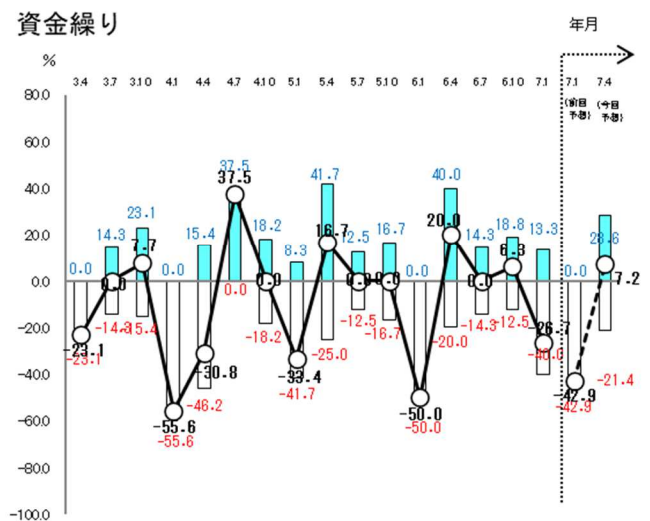
客数



販売価格



資金繰り



収益率

